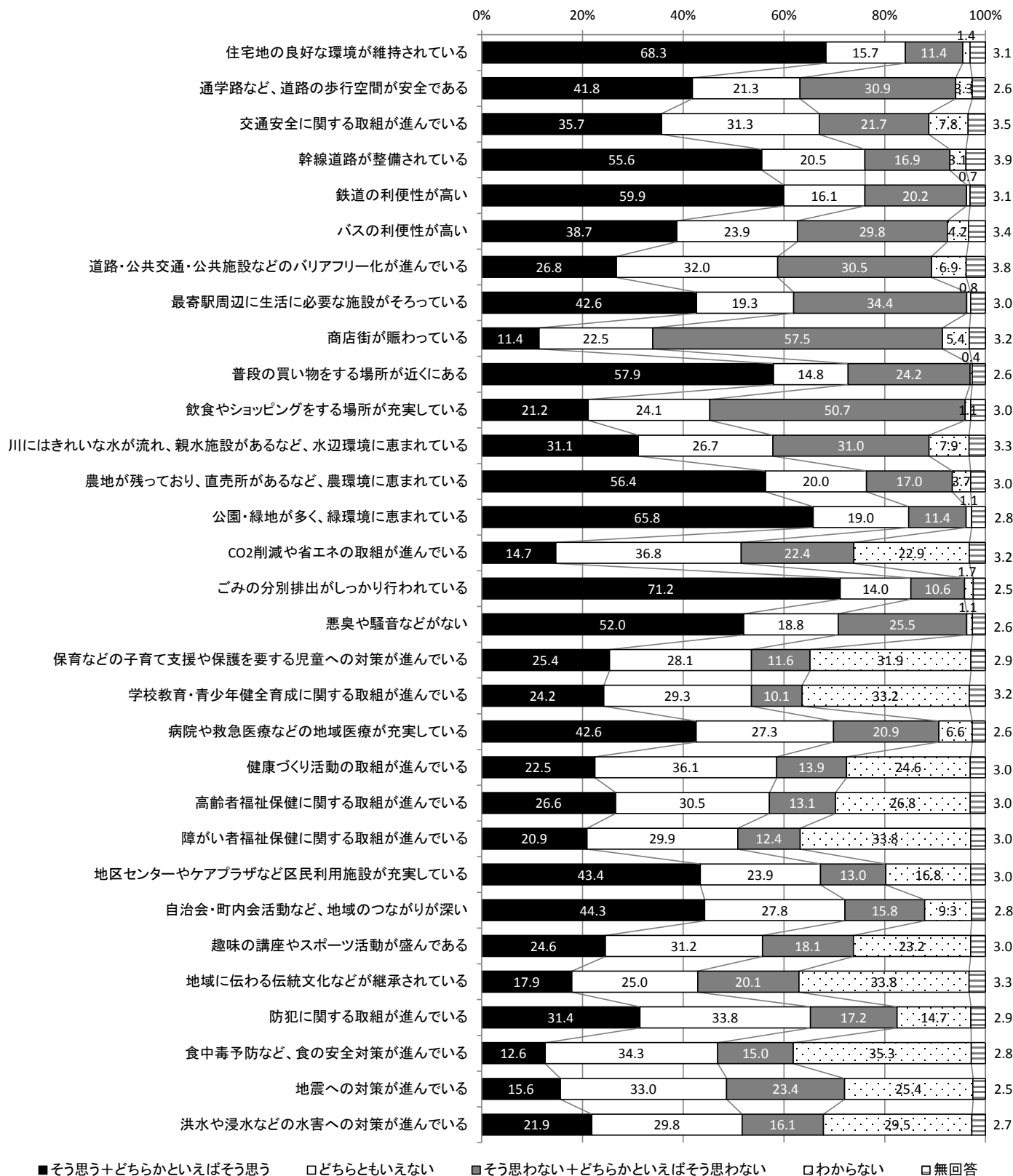


Ⅲ. 集計分析結果

1. 生活環境全般について

問1-1 あなたは、お住まいの地域についてどのように感じていますか。次(1~31)の各項目について、「そう思う 1」から「わからない 6」の中から1つを選び、○を付けてください。(それぞれに○は1つ)

- ・「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた「肯定感」が最も多かった項目は、「ごみの分別排出がしっかり行われている」(71.2%)、「住宅地の良好な環境が維持されている」(68.3%)、「公園・緑地が多く、緑環境に恵まれている」(65.8%)、「鉄道の利便性が高い」(59.9%)、「普段の買い物をする場所が近くにある」(57.9%)が上位5項目である。以下、「農地が残っており、直売所があるなど、農環境に恵まれている」(56.4%)、「幹線道路が整備されている」(55.6%)、「悪臭や騒音などが無い」(52.0%)、「自治会・町内会活動など、地域のつながりが深い」(44.3%)、「地区センターやケアプラザなど区民利用施設が充実している」(43.4%)、「最寄駅周辺に生活に必要な施設がそろっている」(42.6%)、「病院や救急医療などの地域医療が充実している」(42.6%)、「通学路など、道路の歩行空間が安全である」(41.8%)、「バスの利便性が高い」(38.7%)、「交通安全に関する取組が進んでいる」(35.7%)、「川にはきれいな水が流れ、親水施設があるなど、水辺環境に恵まれている」(31.1%)の計16項目に及んでいる。
- ・「どちらともいえない」が最も多かった項目は、上位から「CO2削減や省エネの取組が進んでいる」(36.8%)、「健康づくり活動の取組が進んでいる」(36.1%)、「防犯に関する取組が進んでいる」(33.8%)「地震への対策が進んでいる」(33.0%)、「道路・公共交通・公共施設などのバリアフリー化が進んでいる」(32.0%)、「趣味の講座やスポーツ活動が盛んである」(31.2%)、「高齢者福祉保健に関する取組が進んでいる」(30.5%)、「洪水や浸水などの水害への対策が進んでいる」(29.8%)の計8項目となっている。
- ・「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」を合わせた「否定感」が最も多かったのは「商店街が賑わっている」(57.5%)、「飲食やショッピングをする場所が充実している」(50.7%)の2項目となっている。
- ・「わからない」が最も多くなっているのは、「食中毒予防など、食の安全対策が進んでいる」(35.3%)、「障がい者福祉保健に関する取組が進んでいる」(33.8%)、「地域に伝わる伝統文化などが継承されている」(33.8%)、「保育などの子育て支援や保護を要する児童への対策が進んでいる」(31.9%)、「学校教育・青少年健全育成に関する取組が進んでいる」(33.2%)の5項目である。



■ 居住地区別 生活環境全般について（問1×F3）

1 住宅地の良好な環境が維持されている

・どの地区も「そう思う」が最も多く、緑園エリア（以下、「エリア」を省略）では9割を超える。また新橋で「どちらともいえない」、上飯田、いちよう団地ではややサンプル数が少ないが「そう思わない」の数値が全体値に比べ高くなっている。

2 通学路など、道路の歩行空間が安全である

・中川、緑園、和泉北部、和泉中央、上飯田団地、しらゆりでは「そう思う」が最も多く、緑園では7割を超える。いちよう団地で「そう思う」「そう思わない」が同率、それ以外では「そう思わない」が最も多くなっている。

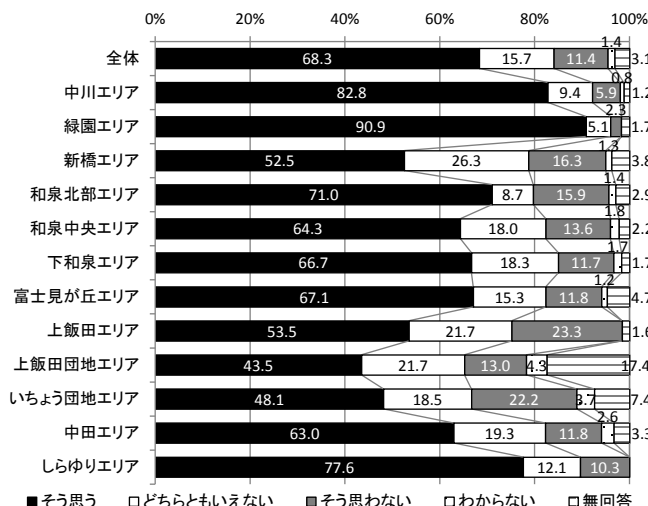
3 交通安全に関する取組が進んでいる

・中川、緑園、和泉北部、和泉中央、富士見が丘、いちよう団地では「そう思う」、新橋、下和泉、しらゆりでは「どちらともいえない」、中田では「そう思わない」が最も多く、上飯田、上飯田団地では「そう思う」「どちらともいえない」が同率、いちよう団地では「そう思わない」「どちらともいえない」が同率となっている。

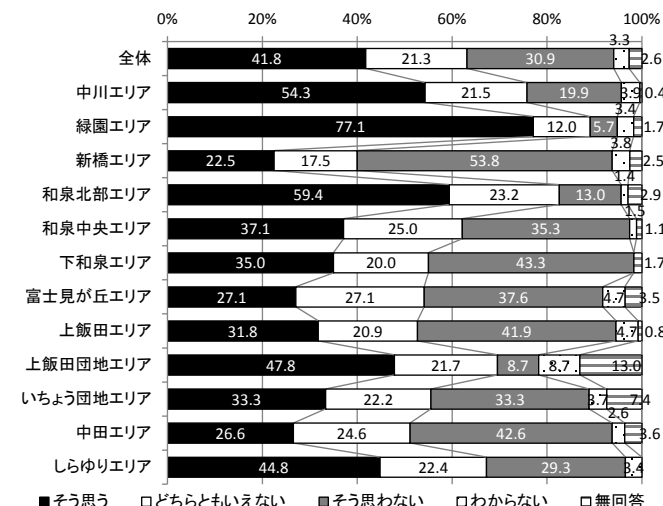
4 幹線道路が整備されている

・いずれの地区も「そう思う」が最も多いが、新橋、下和泉では数値が低く、「そう思わない」が全体値に比べて高くなっている。

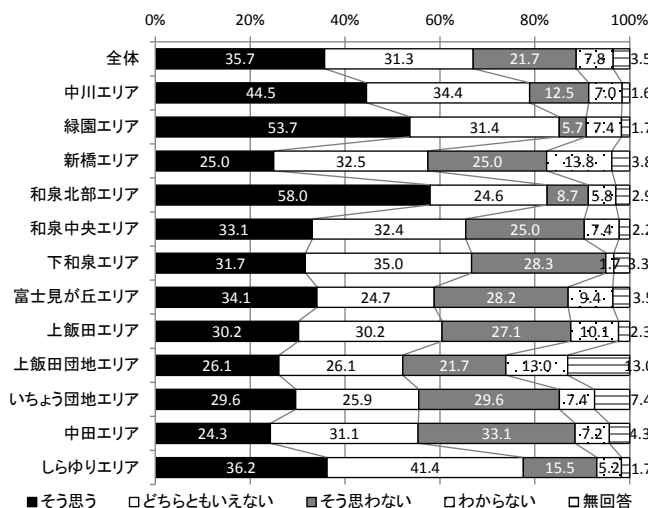
1 住宅地の良好な環境が維持されている



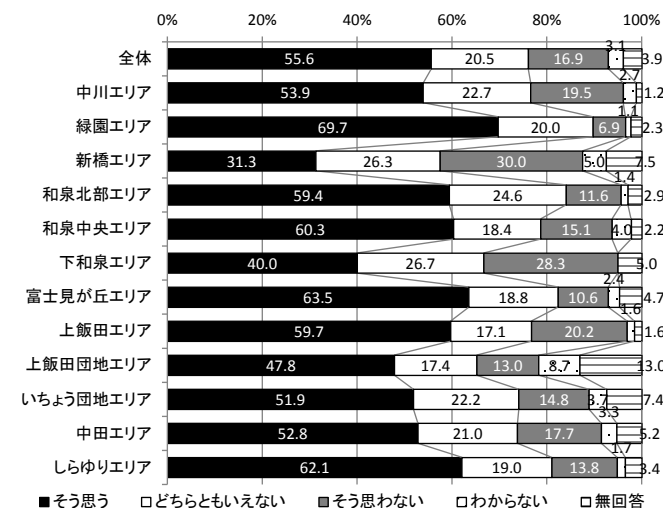
2 通学路など、道路の歩行空間が安全である



3 交通安全に関する取組が進んでいる



4 幹線道路が整備されている



※「そう思う」＝「そう思う」「どちらかというと思う」の合計
 「そう思わない」＝「そう思わない」「どちらかというと思わない」の合計

5 鉄道の利便性が高い

- ・上飯田団地で「そう思わない」、いちょう団地で「どちらともいえない」が最も多い以外は「そう思う」が最も多く、特に和泉北部と和泉中央では8割前後となっている。また、下和泉、富士見が丘、上飯田では「そう思わない」が全体値に比べて高くなっている。

6 バスの利便性が高い

- ・下和泉、富士見が丘、上飯田では「そう思わない」、緑園で「そう思う」「そう思わない」が同率、それ以外の地区では「そう思う」が最も多く、和泉北部では6割を超えている。

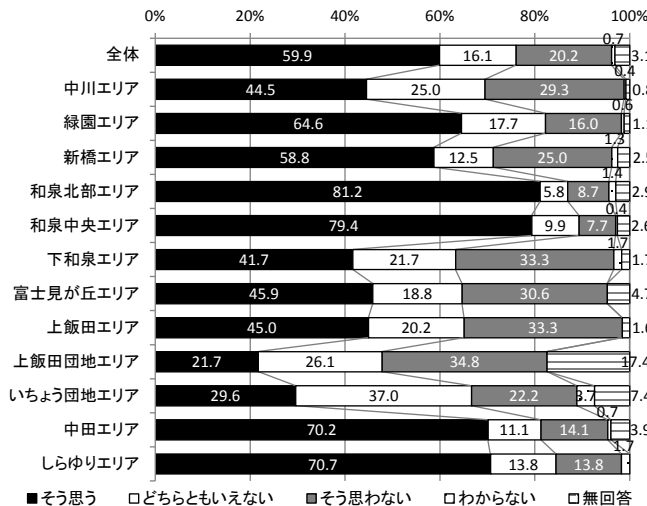
7 道路・公共交通・公共施設などのバリアフリー化が進んでいる

- ・緑園、和泉北部では「そう思う」、中川、和泉中央、上飯田、中田では「どちらともいえない」、新橋、下和泉、富士見が丘、いちょう団地では「そう思わない」が最も多く、しらゆりで「そう思う」「そう思わない」が同率、上飯田団地で「どちらともいえない」「そう思わない」が同率となっている。

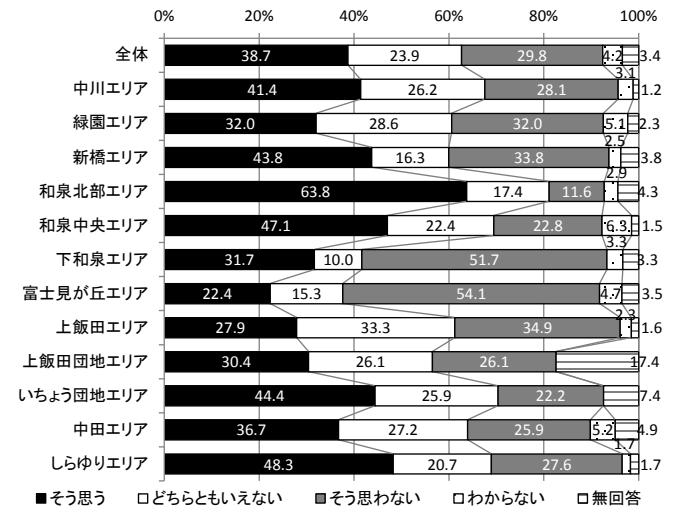
8 最寄駅周辺に生活に必要な施設がそろっている

- ・和泉北部、下和泉、富士見が丘、上飯田、いちょう団地では「そう思わない」が最も多く、特に富士見が丘では8割近くに達している。それ以外の地区では「そう思う」が最も多い。

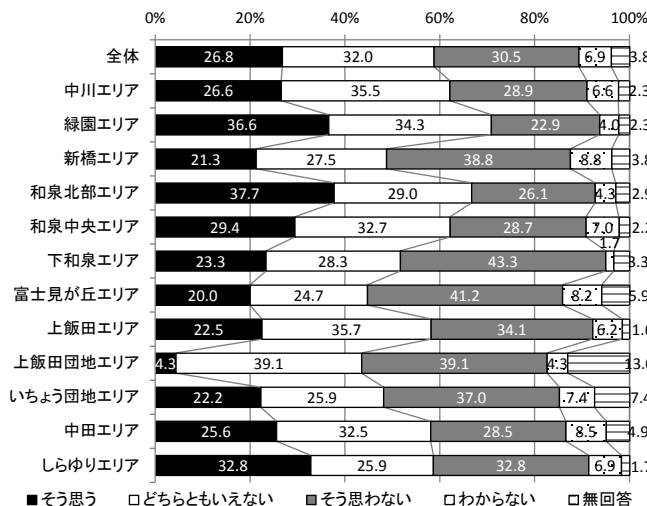
5 鉄道の利便性が高い



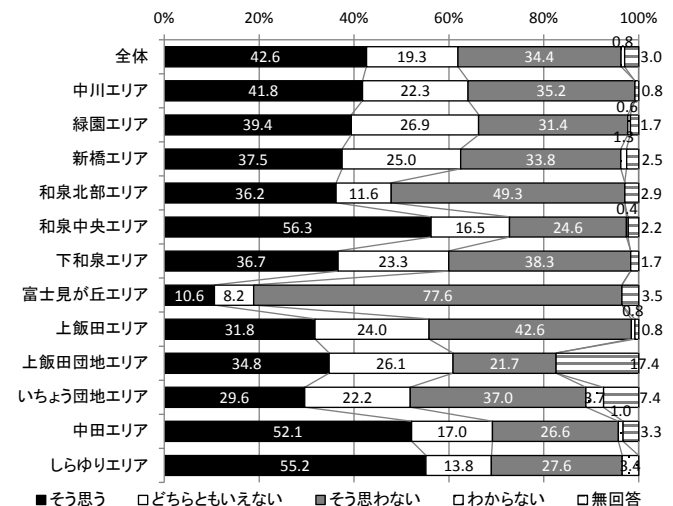
6 バスの利便性が高い



7 道路・公共交通・公共施設などのバリアフリー化が進んでいる



8 最寄駅周辺に生活に必要な施設がそろっている



※「そう思う」＝「そう思う」「どちらかというそう思う」の合計
 「そう思わない」＝「そう思わない」「どちらかというそう思わない」の合計

9 商店街が賑わっている

- ・いずれの地区も「そう思わない」が最も多く、特に新橋、和泉北部、富士見が丘では7割を超えている。また、しらゆりで「どちらともいえない」が全体値に比べて高くなっている。

10 普段の買い物をする場所が近くにある

- ・新橋と富士見が丘で「そう思わない」が最も多い以外は「そう思う」が最も多く、しらゆりでは7割に達している。

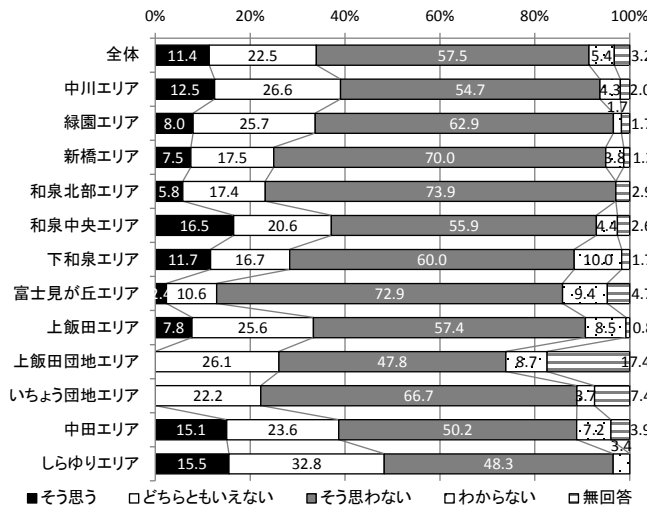
11 飲食やショッピングをする場所が充実している

- ・いずれの地区でも「そう思わない」が最も多く、新橋と富士見が丘で7割に達している。和泉中央では「そう思う」が全体値に比べて高い。

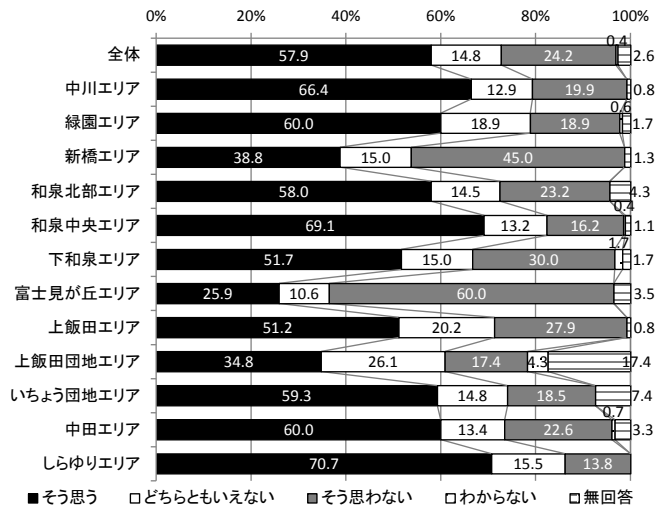
12 川にはきれいな水が流れ、親水施設があるなど、水辺環境に恵まれている

- ・和泉中央、下和泉、富士見が丘、上飯田では「そう思う」、新橋と上飯田団地では「どちらともいえない」、それ以外は「そう思わない」が最も多くなっている。また、しらゆりで「わからない」が全体値に比べて高くなっている。

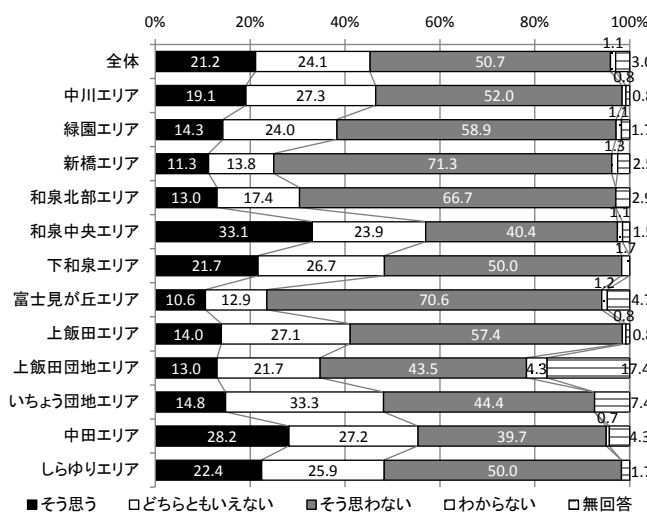
9 商店街が賑わっている



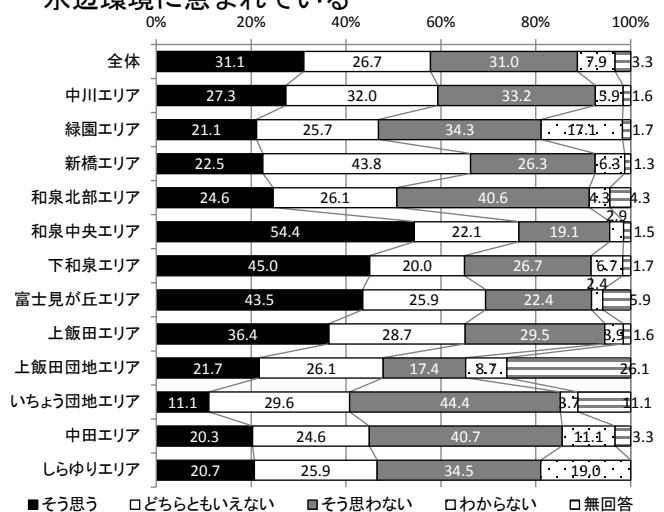
10 普段の買い物をする場所が近くにある



11 飲食やショッピングをする場所が充実している



12 川にはきれいな水が流れ、親水施設があるなど、水辺環境に恵まれている



※「そう思う」＝「そう思う」「どちらかというそう思う」の合計
 「そう思わない」＝「そう思わない」「どちらかというそう思わない」の合計

13 農地が残っており、直売所があるなど、農環境に恵まれている

・いずれの地区も「そう思う」が最も多く、富士見が丘では8割、和泉北部、下和泉、上飯田でも7割を超えている。緑園、新橋では「そう思わない」の数値が全体値に比べて高い。

14 公園・緑地が多く、緑環境に恵まれている

・いずれの地区も「そう思う」が最も多く、緑園、和泉北部では8割、中川でも7割を超えている。

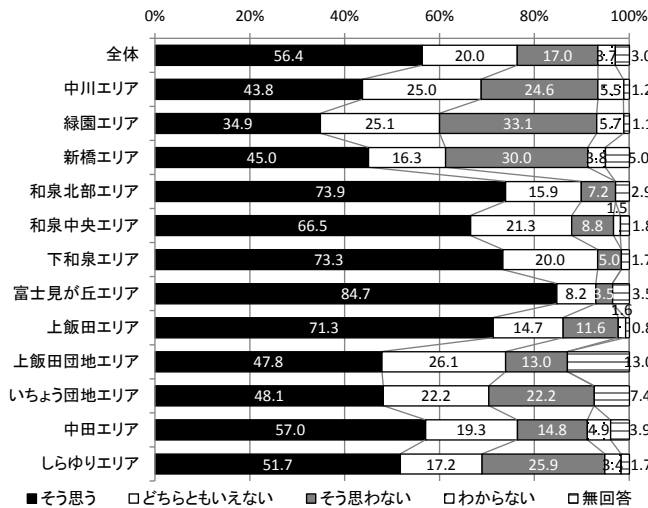
15 CO2削減や省エネの取組が進んでいる

・しらゆりで「そう思わない」が最も多く、上飯田団地で「そう思う」「どちらともいえない」が同率となっている以外は「どちらともいえない」が最も多くなっている。

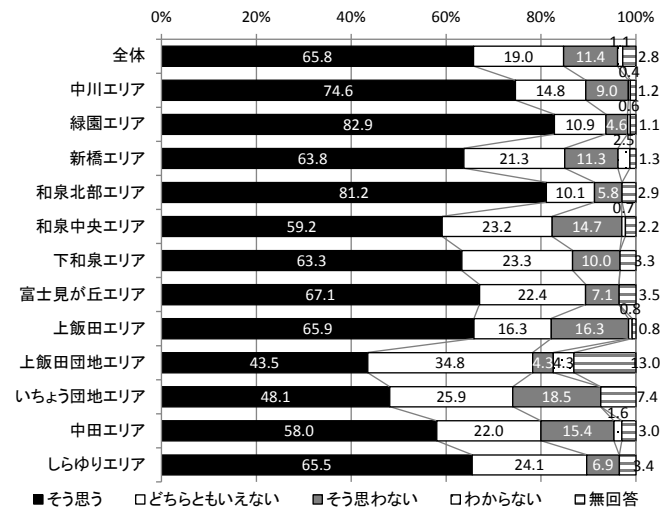
16 ごみの分別排出がしっかり行われている

・いちょう団地で「そう思う」「そう思わない」が同率となっている以外は、いずれの地区でも「そう思う」が最も多く、特に和泉北部では8割を超えている。

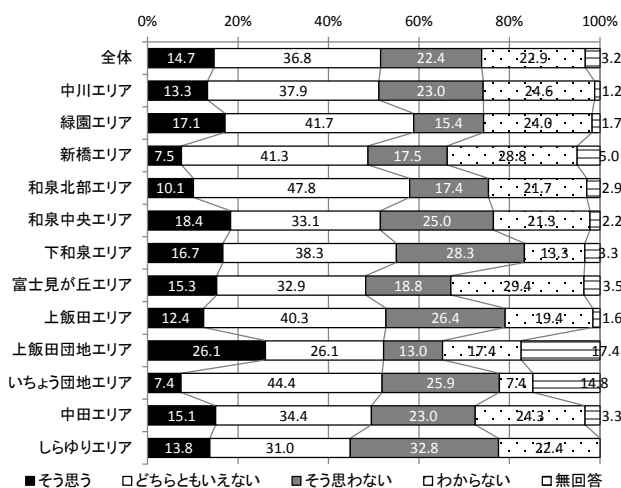
13 農地が残っており、直売所があるなど、農環境に恵まれている



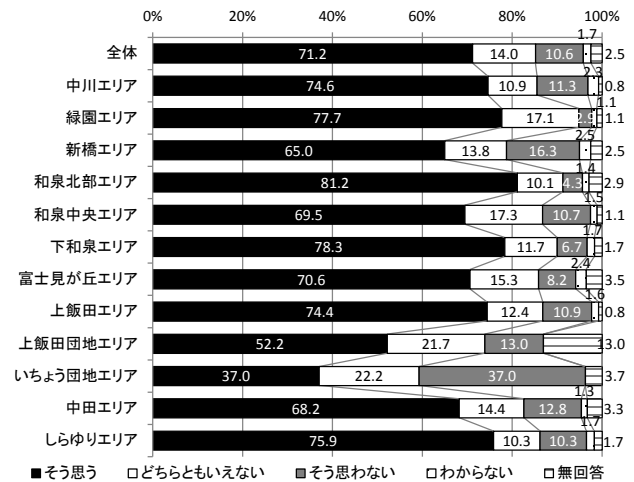
14 公園・緑地が多く、緑環境に恵まれている



15 CO2削減や省エネの取組が進んでいる



16 ごみの分別排出がしっかり行われている



※「そう思う」＝「そう思う」「どちらかというそう思う」の合計
 「そう思わない」＝「そう思わない」「どちらかというそう思わない」の合計

17 悪臭や騒音などがない

・和泉北部、上飯田、いちょう団地では「そう思わない」、上飯田団地では「そう思う」「そう思わない」が同率、それ以外の地区では「そう思う」が最も多く、しらゆりでは7割を超えている。

18 保育などの子育て支援や保護を要する児童への対策が進んでいる

・緑園、和泉北部、しらゆりでは「そう思う」、中川、下和泉では「どちらともいえない」、いちょう団地では「そう思わない」が最も多く、上飯田団地で「どちらともいえない」「わからない」が同率になっており、「そう思う」との回答がなかった。それ以外は「わからない」が最も多くなっている。

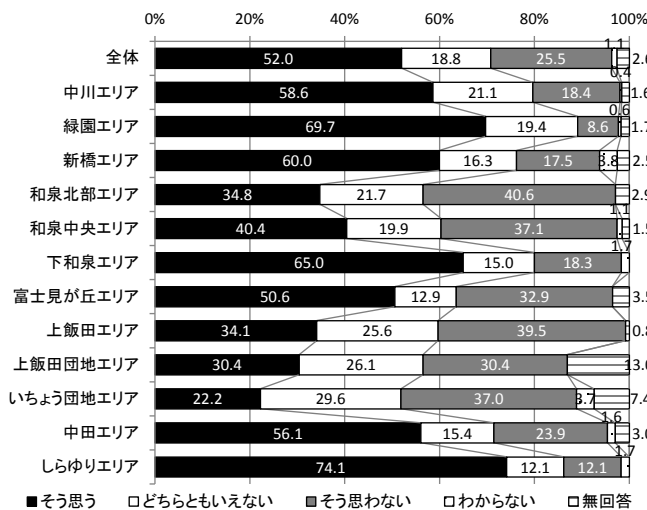
19 学校教育・青少年健全育成に関する取組が進んでいる

・緑園、和泉北部、しらゆりでは「そう思う」、中川、下和泉、上飯田では「どちらともいえない」、それ以外は「わからない」が最も多くなっている。

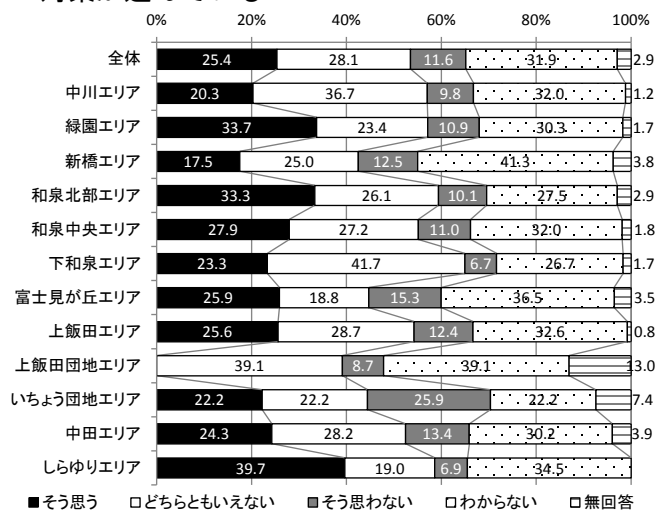
20 病院や救急医療などの地域医療が充実している

・上飯田団地、いちょう団地では「どちらともいえない」、緑園で「そう思う」「どちらともいえない」が同率となっている以外は「そう思う」が最も多く、しらゆりで6割を超えている。

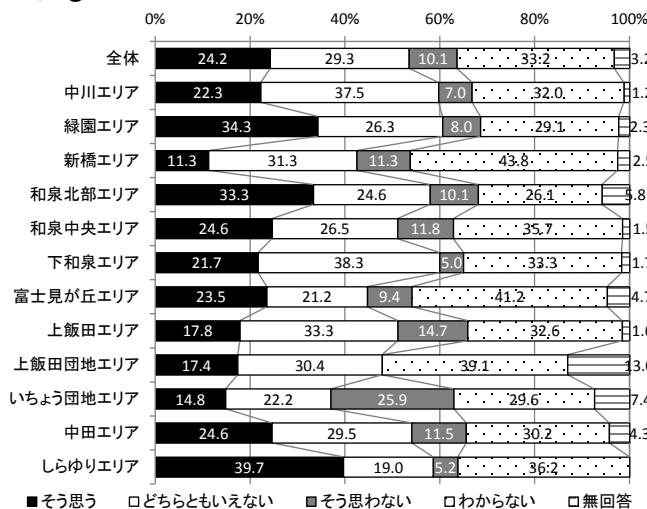
17 悪臭や騒音などがない



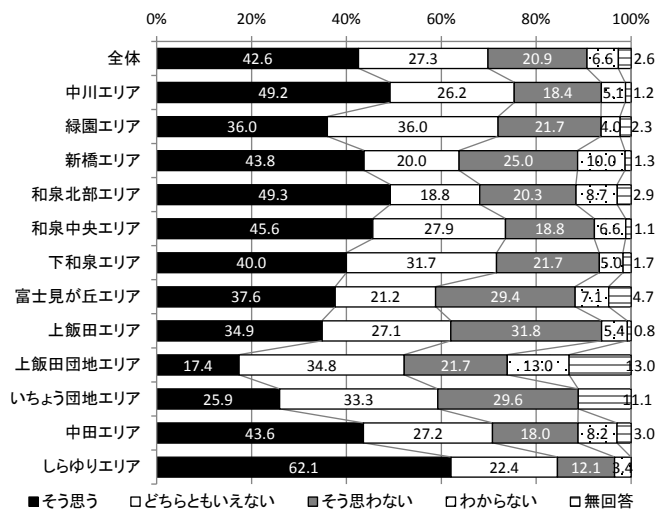
18 保育などの子育て支援や保護を要する児童への対策が進んでいる



19 学校教育・青少年健全育成に関する取組が進んでいる



20 病院や救急医療などの地域医療が充実している



※「そう思う」＝「そう思う」「どちらかというそう思う」の合計
 「そう思わない」＝「そう思わない」「どちらかというそう思わない」の合計

21 健康づくり活動の取組が進んでいる

- ・しらゆりで「そう思う」が最も多い以外は、いずれの地区でも「どちらともいえない」が最も多くなっている。

22 高齢者福祉保健に関する取組が進んでいる

- ・和泉中央、富士見が丘、しらゆりで「そう思う」、新橋、中田で「わからない」が最も多く、いちょう団地で「そう思う」「どちらともいえない」が同率となっている以外は、いずれの地区でも「どちらともいえない」が最も多くなっている。

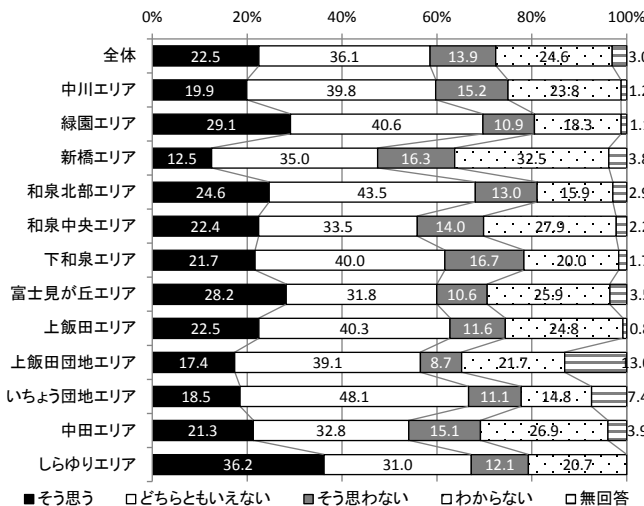
23 障がい者福祉保健に関する取組が進んでいる

- ・中川、緑園、下和泉、上飯田で「どちらともいえない」、それ以外はいずれの地区でも「わからない」が最も多くなっている。

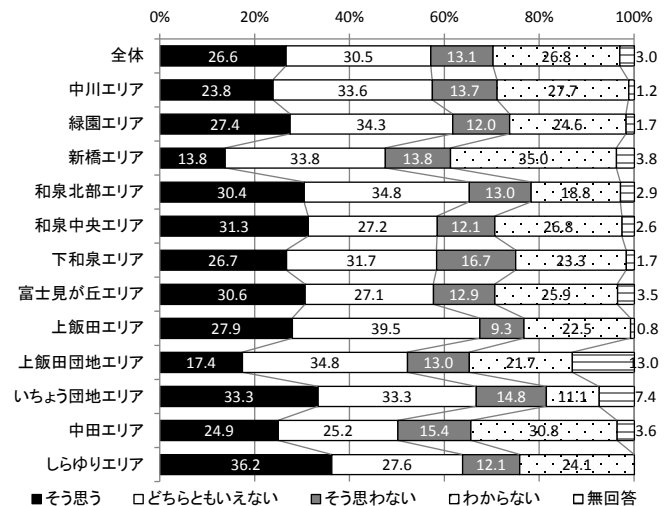
24 地区センターやケアプラザなど区民利用施設が充実している

- ・緑園、いちょう団地で「どちらともいえない」、それ以外はいずれの地区でも「そう思う」が最も多く、しらゆりでは6割を超えている。

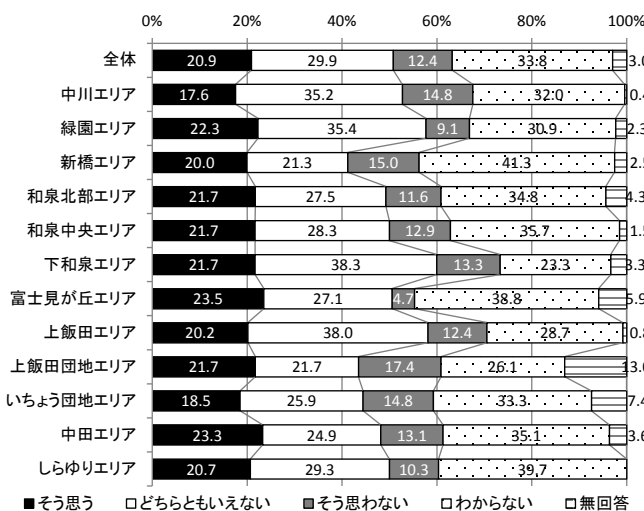
21 健康づくり活動の取組が進んでいる



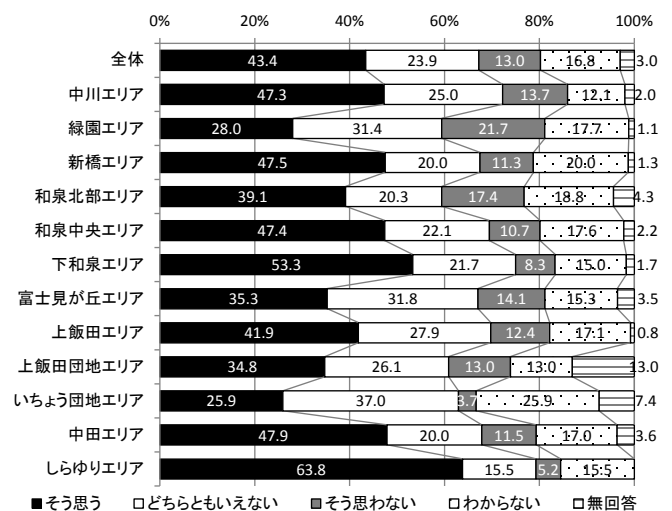
22 高齢者福祉保健に関する取組が進んでいる



23 障がい者福祉保健に関する取組が進んでいる



24 地区センターやケアプラザなど区民利用施設が充実している



※「そう思う」＝「そう思う」「どちらかというと思う」の合計
 「そう思わない」＝「そう思わない」「どちらかというと思わない」の合計

25 自治会・町内会活動など、地域のつながりが深い

・いずれの地区でも「そう思う」が最も多くなっている。

26 趣味の講座やスポーツ活動が盛んである

・富士見が丘、しらゆりでは「そう思う」、それ以外はいずれの地区でも「どちらともいえない」が最も多くなっている。

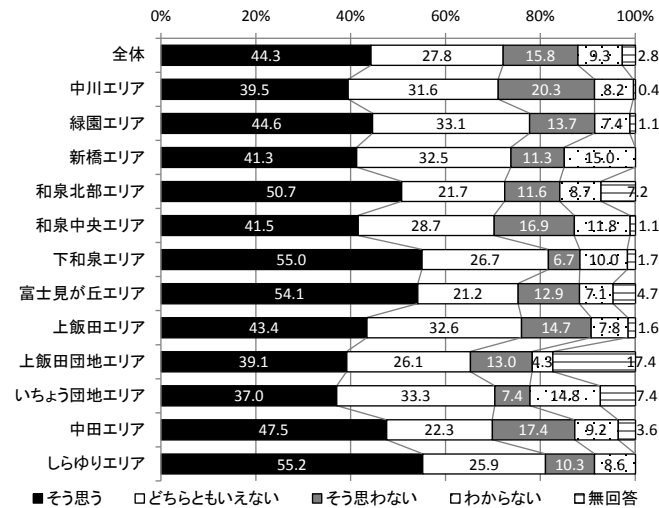
27 地域に伝わる伝統文化などが継承されている

・和泉北部、下和泉、上飯田団地、いちょう団地では「どちらともいえない」、それ以外の地区では「わからない」が最も多くなっている。

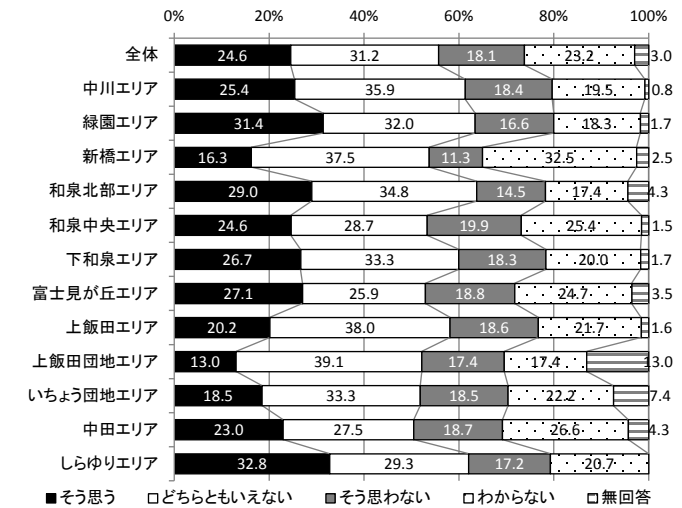
28 防犯に関する取組が進んでいる

・緑園、和泉北部、富士見が丘では「そう思う」、それ以外の地区では「どちらともいえない」が最も多くなっている。

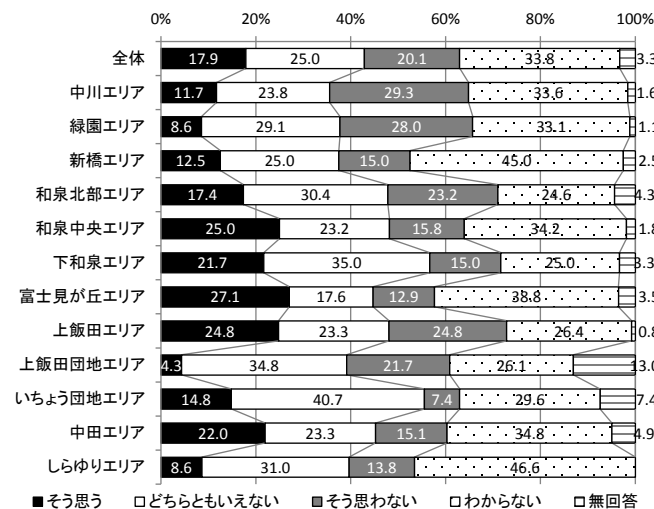
25 自治会・町内会活動など、地域のつながりが深い



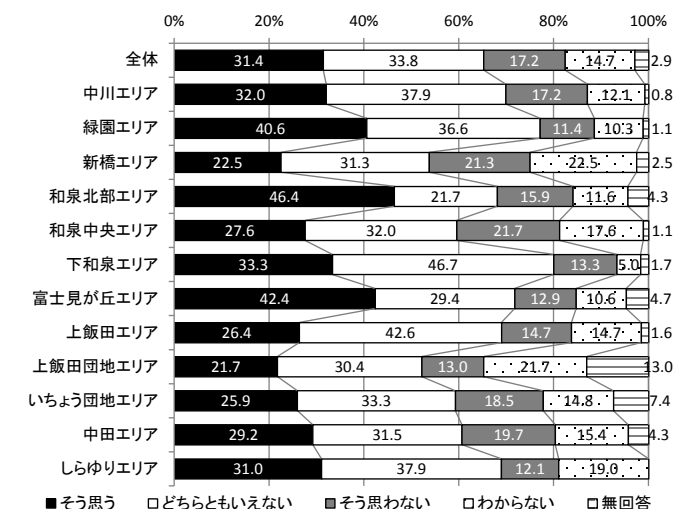
26 趣味の講座やスポーツ活動が盛んである



27 地域に伝わる伝統文化などが継承されている



28 防犯に関する取組が進んでいる



※「そう思う」＝「そう思う」「どちらかというそう思う」の合計
 「そう思わない」＝「そう思わない」「どちらかというそう思わない」の合計

29 食中毒予防など、食の安全対策が進んでいる

- ・中川、和泉北部、下和泉、上飯田、上飯田団地、いちよう団地では「どちらともいえない」、それ以外の地区では「わからない」が最も多くなっている。

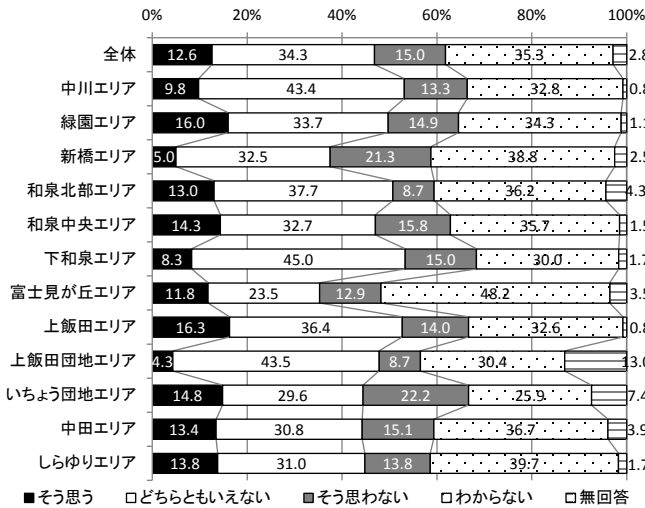
30 地震への対策が進んでいる

- ・富士見が丘で「わからない」が最も多く、新橋と和泉中央で「そう思わない」「わからない」が同率となっている以外は「どちらともいえない」が最も多くなっている。なお、緑園で「そう思う」が全体値より10ポイント以上高くなっている。

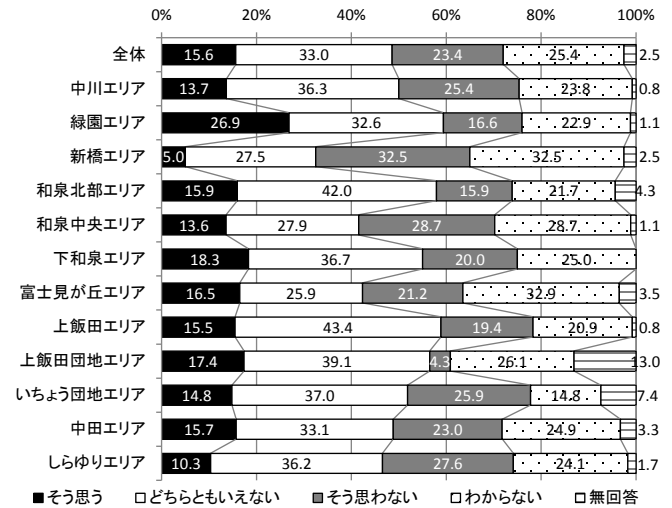
31 洪水や浸水などの水害への対策が進んでいる

- ・新橋、富士見が丘、中田で「わからない」が最も多く、しらゆりで「どちらともいえない」「わからない」が同率となっている以外は「どちらともいえない」が最も多くなっている。なお、富士見が丘で「そう思う」が全体値より10ポイント以上高くなっている。

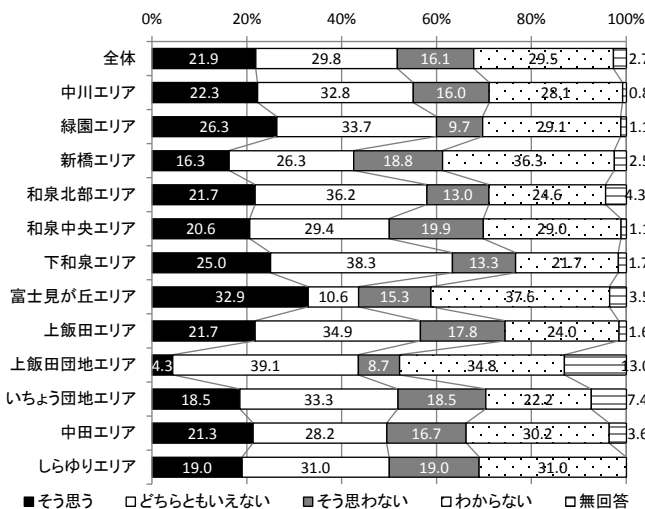
29 食中毒予防など、食の安全対策が進んでいる



30 地震への対策が進んでいる



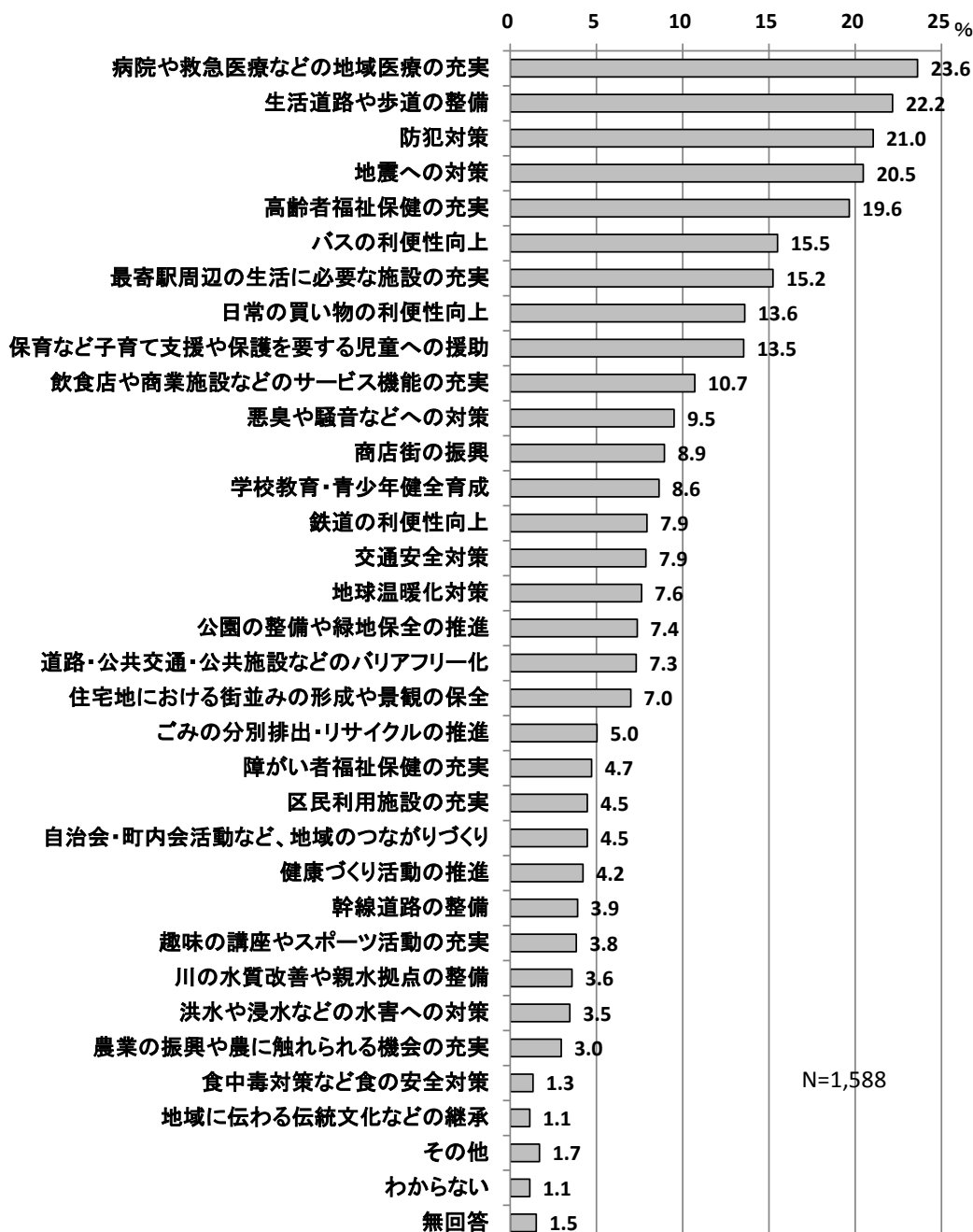
31 洪水や浸水などの水害への対策が進んでいる



※「そう思う」＝「そう思う」「どちらかというと思う」の合計
 「そう思わない」＝「そう思わない」「どちらかというと思わない」の合計

問1-2 あなたは、次(1~33)の項目の中で、今後特に力を入れて進めていくべきことは何だと思いま
すか。(〇は3つまで)

- ・「病院や救急医療などの地域医療の充実」が最も多く 23.6%である。続いて「生活道路や歩道の整備」(22.2%)、「防犯対策」(21.0%)、「地震への対策」(20.5%)を2割以上が挙げている。以下「高齢者福祉保健の充実」(19.6%)、「バスの利便性向上」(15.5%)、「最寄駅周辺の生活に必要な施設の充実」(15.2%)、「日常の買い物の利便性向上」(13.6%)、「保育など子育て支援や保護を要する児童への援助」(13.5%)などの順となっている。



■ 性別・年齢別 今後特に力を入れて進めていくべきこと（問1-2×F1, 2）

- ・男性は「生活道路や歩道の整備」、女性は「病院や救急医療などの地域医療の充実」が最も多く、男女で傾向が分かれた。
- ・年齢別で見ると、20歳代、30歳代では「保育など子育て支援や保護を要する児童への援助」、40歳代では「生活道路や歩道の整備」、50歳代では「病院や救急医療などの地域医療の充実」、60歳代以上の世代では「高齢者福祉保健の充実」が、それぞれ最も多くなっている。また、20歳代では「飲食店や商業施設などのサービス機能の充実」の数値が全体値より10ポイント以上高くなっている。

		問1-2 今後特に力を入れて進めていくべきこと																	
		合計	住宅地における街並みの形成	生活道路や歩道の整備	交通安全対策	幹線道路の整備	鉄道の利便性向上	バスの利便性向上	道路・公共交通・公共施設などのバリアフリー化	最寄駅周辺の生活に必要な施設の充実	商店街の振興	日常の買い物物の利便性向上	飲食店や商業施設などのサービス機能の充実	備用水質改善や親水拠点の整備	農会の振興や農に触れられる機会の充実	公園の整備や緑地保全の推進	地球温暖化対策	ごみの分別排出・リサイクルの推進	悪臭や騒音などへの対策
	全体	1588	7.0	22.2	7.9	3.9	7.9	15.5	7.3	15.2	8.9	13.6	10.7	3.6	3.0	7.4	7.6	5.0	9.5
F1 性別	男性	691	8.7	23.6	9.8	6.1	7.5	13.2	6.7	13.6	11.3	10.4	12.4	4.8	2.6	9.8	7.4	4.5	10.7
	女性	847	5.7	21.4	6.6	2.4	8.4	17.6	8.1	17.0	7.6	16.3	9.6	2.6	3.1	5.8	7.9	5.2	8.4
F2 年齢(年代別)	20歳代	119	5.9	16.0	8.4	0.8	15.1	17.6	5.9	19.3	9.2	14.3	22.7	5.9	3.4	6.7	5.0	1.7	16.0
	30歳代	184	9.8	24.5	12.5	6.0	9.2	12.0	2.2	16.3	7.1	9.2	14.7	4.9	2.2	7.1	2.7	5.4	12.0
	40歳代	278	6.5	25.5	10.4	6.5	8.6	14.0	7.2	19.8	9.7	13.7	15.5	2.9	2.5	9.0	3.2	2.5	10.4
	50歳代	204	5.9	24.0	8.8	2.9	9.3	13.7	6.4	14.2	11.3	11.3	9.8	5.9	3.4	5.9	9.8	7.4	10.8
	60歳代	310	8.1	23.2	5.8	3.9	6.5	13.2	7.1	13.5	9.4	11.3	6.5	1.9	1.6	9.4	10.3	4.8	6.1
	70歳代以上	425	6.1	20.0	5.6	2.6	4.9	20.0	10.4	13.6	8.7	18.1	6.4	3.1	3.5	6.8	10.6	6.6	6.1

		問1-2 今後特に力を入れて進めていくべきこと																				
		合計	要する児童への援助	保育など子育て支援や保護を	学校教育・青少年健全育成	療育や救急医療などの地域医療の充実	健康づくり活動の推進	高齢者福祉保健の充実	障がい者福祉保健の充実	区民利用施設の充実	地域のつながりづくり	自治会・町内会活動など、地域の	趣味の講座やスポーツ活動の充実	継承に伝わる伝統文化などの	地域に伝わる伝統文化などの	防犯対策	食中毒対策など食の安全対策	地震への対策	策 洪水や浸水などの水害への対策	その他	わからない	無回答
	全体	1588	13.5	8.6	23.6	4.2	19.6	4.7	4.5	4.5	3.8	1.1	21.0	1.3	20.5	3.5	1.7	1.1	1.5			
F1 性別	男性	691	11.6	8.7	20.8	4.6	20.4	3.9	4.2	3.5	4.6	1.2	23.2	1.4	19.2	3.3	1.6	1.4	0.4			
	女性	847	15.6	8.7	26.3	3.7	19.4	5.3	4.7	5.0	3.1	1.1	19.6	1.2	22.0	3.5	1.8	0.8	1.4			
F2 年齢(年代別)	20歳代	119	26.9	6.7	16.0	2.5	10.1	3.4	5.9	1.7	1.7	0.0	12.6	0.8	21.8	1.7	1.7	0.8	0.0			
	30歳代	184	26.1	16.8	19.0	2.2	7.1	3.8	4.9	3.3	2.7	0.5	25.5	0.5	20.7	3.8	2.2	1.1	0.5			
	40歳代	278	12.6	13.3	24.1	2.5	9.7	5.0	4.0	2.2	2.9	1.8	23.0	0.0	24.8	6.1	2.5	0.7	1.1			
	50歳代	204	9.8	7.4	28.9	1.5	15.7	5.4	1.0	3.4	2.5	1.0	25.5	1.5	25.5	3.9	1.0	1.0	0.0			
	60歳代	310	15.2	5.2	22.9	6.8	24.5	4.8	6.1	6.5	6.5	1.9	22.3	1.0	21.6	2.3	1.0	1.0	1.3			
	70歳代以上	425	6.1	6.6	27.1	6.1	33.4	4.9	4.9	6.4	4.5	0.7	17.9	3.1	15.3	3.1	2.1	1.4	1.9			

■ 居住地区別 今後特に力を入れて進めていくべきこと（問1-2×F3）

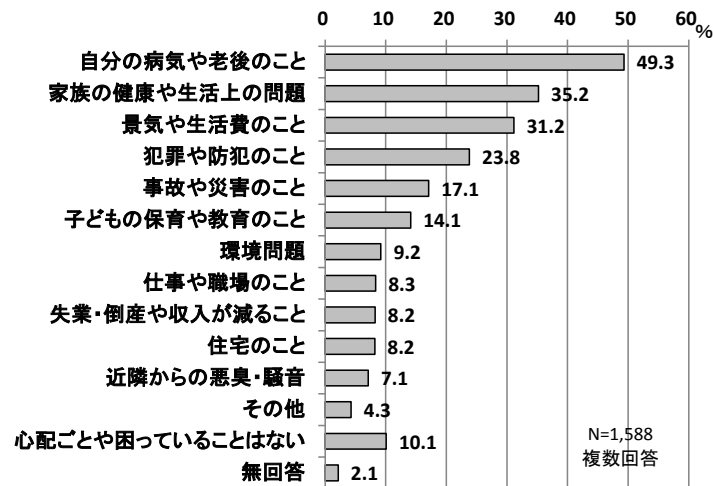
- ・中川、いちょう団地では「防犯対策」、緑園では「病院や救急医療などの地域医療の充実」、和泉北部と富士見が丘では「最寄駅周辺の生活に必要な施設の充実」、上飯田団地では「日常の買い物の利便性向上」、それ以外の地区では「生活道路や歩道の整備」が最も多く、下和泉では「生活道路や歩道の整備」「バスの利便性向上」が同率となっており、居住地区によって特徴がみられた。

	合計	問1-2 今後特に力を入れて進めていくべきこと																						
		や景観の保全	住宅地における街並みの形成	生活道路や歩道の整備	交通安全対策	幹線道路の整備	鉄道の利便性向上	バスの利便性向上	道路のバリアフリー化	道路・公共交通・公共施設などの充実	最寄駅周辺の生活に必要な施設の充実	商店街の振興	日常の買い物の利便性向上	飲食店や商業施設などのサ-	備の充実	川の水質改善や親水拠点の整備	農会の充実	農業の振興や農に触れられる	公園の整備や緑地保全の推進	地球温暖化対策	の推進	ごみの分別排出・リサイクル	悪臭や騒音などへの対策	
全体	1588	7.0	22.2	7.9	3.9	7.9	15.5	7.3	15.2	8.9	13.6	10.7	3.6	3.0	7.4	7.6	5.0	9.5						
F3 連合																								
中川エリア	256	7.8	13.3	4.7	7.0	12.5	20.7	7.4	15.6	8.2	10.5	10.5	5.1	2.0	7.4	8.2	4.3	6.3						
緑園エリア	175	16.0	7.4	5.1	4.6	15.4	14.3	7.4	21.1	17.7	21.1	12.6	1.1	2.3	5.1	7.4	2.3	3.4						
新橋エリア	80	13.8	33.8	7.5	11.3	7.5	17.5	11.3	20.0	10.0	18.8	15.0	10.0	2.5	6.3	2.5	3.8	3.8						
和泉北部エリア	69	15.9	8.7	5.8	2.9	0.0	5.8	2.9	30.4	14.5	10.1	24.6	2.9	2.9	8.7	10.1	0.0	11.6						
和泉中央エリア	272	4.4	30.9	8.8	1.8	4.8	8.5	9.6	15.4	7.0	7.0	10.3	2.6	2.6	8.1	7.4	5.5	19.5						
下和泉エリア	60	1.7	30.0	11.7	6.7	5.0	30.0	5.0	11.7	1.7	16.7	3.3	5.0	3.3	8.3	8.3	1.7	10.0						
富士見が丘エリア	85	2.4	20.0	7.1	1.2	7.1	27.1	4.7	29.4	3.5	23.5	17.6	1.2	3.5	10.6	8.2	0.0	11.8						
上飯田エリア	129	3.1	27.1	10.9	3.1	10.9	21.7	3.1	8.5	7.0	14.0	13.2	3.1	3.9	7.8	5.4	4.7	8.5						
上飯田団地エリア	23	4.3	0.0	0.0	4.3	21.7	30.4	0.0	8.7	17.4	43.5	17.4	0.0	0.0	4.3	0.0	4.3	21.7						
いちょう団地エリア	27	14.8	14.8	22.2	3.7	0.0	22.2	11.1	11.1	22.2	7.4	7.4	0.0	0.0	18.5	14.8	14.8	7.4						
中田エリア	305	3.6	29.2	9.8	3.0	3.3	10.5	8.5	8.2	8.5	12.1	4.6	3.6	2.3	6.6	8.5	8.9	6.9						
しらゆりエリア	58	6.9	31.0	8.6	0.0	6.9	8.6	10.3	15.5	5.2	13.8	12.1	8.6	12.1	8.6	10.3	10.3	3.4						

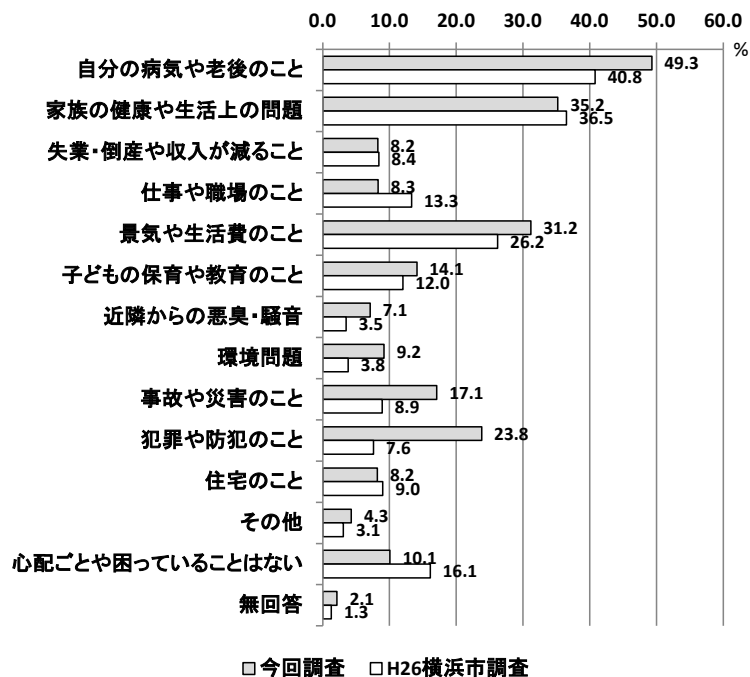
	合計	問1-2 今後特に力を入れて進めていくべきこと																					
		要する児童への援助	保育など子育て支援や保護を	学校教育・青少年健全育成	療育の充実	病院や救急医療などの地域医療の充実	健康づくり活動の推進	高齢者福祉保健の充実	障がい者福祉保健の充実	区民利用施設の充実	地域つながりがりづくり	自治会・町内会活動など、地域の活性化	趣味の講座やスポーツ活動の充実	継承	地域に伝わる伝統文化などの継承	防犯対策	食中毒対策など食の安全対策	地震への対策	洪水や浸水などの水害への対策	その他	わからない	無回答	
全体	1588	13.5	8.6	23.6	4.2	19.6	4.7	4.5	4.5	3.8	1.1	21.0	1.3	20.5	3.5	1.7	1.1	1.5					
F3 連合																							
中川エリア	256	15.6	7.8	23.0	4.7	19.9	7.8	4.3	5.9	2.3	1.2	24.2	0.8	19.9	3.5	1.6	1.6	0.4					
緑園エリア	175	11.4	7.4	25.1	4.6	18.9	2.9	10.3	5.1	6.3	1.7	20.6	0.6	20.0	1.7	1.7	0.0	0.0					
新橋エリア	80	10.0	5.0	18.8	2.5	18.8	5.0	3.8	3.8	1.3	1.3	18.8	0.0	27.5	3.8	0.0	1.3	1.3					
和泉北部エリア	69	11.6	10.1	11.6	8.7	23.2	1.4	4.3	2.9	8.7	1.4	17.4	2.9	23.2	2.9	1.4	0.0	0.0					
和泉中央エリア	272	13.2	8.8	24.6	5.9	19.5	3.7	5.5	4.4	7.0	1.1	23.2	2.2	22.8	4.4	2.6	0.7	1.1					
下和泉エリア	60	6.7	10.0	28.3	5.0	23.3	5.0	3.3	5.0	0.0	0.0	10.0	5.0	13.3	1.7	0.0	3.3	1.7					
富士見が丘エリア	85	8.2	4.7	28.2	2.4	20.0	3.5	2.4	0.0	2.4	0.0	12.9	0.0	18.8	2.4	1.2	0.0	3.5					
上飯田エリア	129	11.6	10.1	26.4	3.1	15.5	4.7	3.9	5.4	4.7	0.8	20.2	1.6	15.5	4.7	1.6	0.8	0.8					
上飯田団地エリア	23	4.3	4.3	13.0	4.3	21.7	17.4	0.0	8.7	0.0	0.0	4.3	4.3	8.7	4.3	0.0	0.0	13.0					
いちょう団地エリア	27	14.8	3.7	18.5	0.0	18.5	0.0	3.7	7.4	3.7	0.0	29.6	0.0	11.1	0.0	0.0	3.7	0.0					
中田エリア	305	18.7	12.1	24.6	3.0	20.0	4.6	3.0	2.3	2.0	1.6	24.3	1.3	22.6	4.9	3.0	2.0	1.6					
しらゆりエリア	58	22.4	10.3	25.9	1.7	20.7	1.7	1.7	8.6	5.2	1.7	17.2	0.0	25.9	0.0	0.0	0.0	0.0					

問2 あなたは、近頃、ご自分やご家族の生活の事で心配ごとや困っていることがありますか。(〇は3つまで)

- ・「自分の病気や老後のこと」が最も多く 49.3%で、半数近い人が挙げている。次いで「家族の健康や生活上の問題」(35.2%)、「景気や生活費のこと」(31.2%)が3割以上である。以下「犯罪や防犯のこと」(23.8%)、「事故や災害のこと」(17.1%)、「子どもの保育や教育のこと」(14.1%)などと続く。「心配ごとや困っていることはない」は10.1%で、約1割の人が挙げている。
- ・平成26年度横浜市民意識調査(以下「横浜市調査」という。)と比較すると、上位3項目は「自分の病気や老後のこと」「家族の健康や生活上の問題」「景気や生活費のこと」で変わらないが、1位の「自分の病気や老後のこと」の数値は横浜市調査に比べて8.5ポイント高くなっている。また、今回調査で4位の「犯罪や防犯のこと」は横浜市調査では9位で、16.2ポイント、5位の「事故や災害のこと」は横浜市調査では7位で、8.2ポイントの差がある。一方「心配ごとや困っていることはない」は、横浜市調査に比べて6.0ポイント低くなっている。



横浜市調査との比較



■ 性別・年齢別 心配ごとや困っていること（問2×F1, 2）

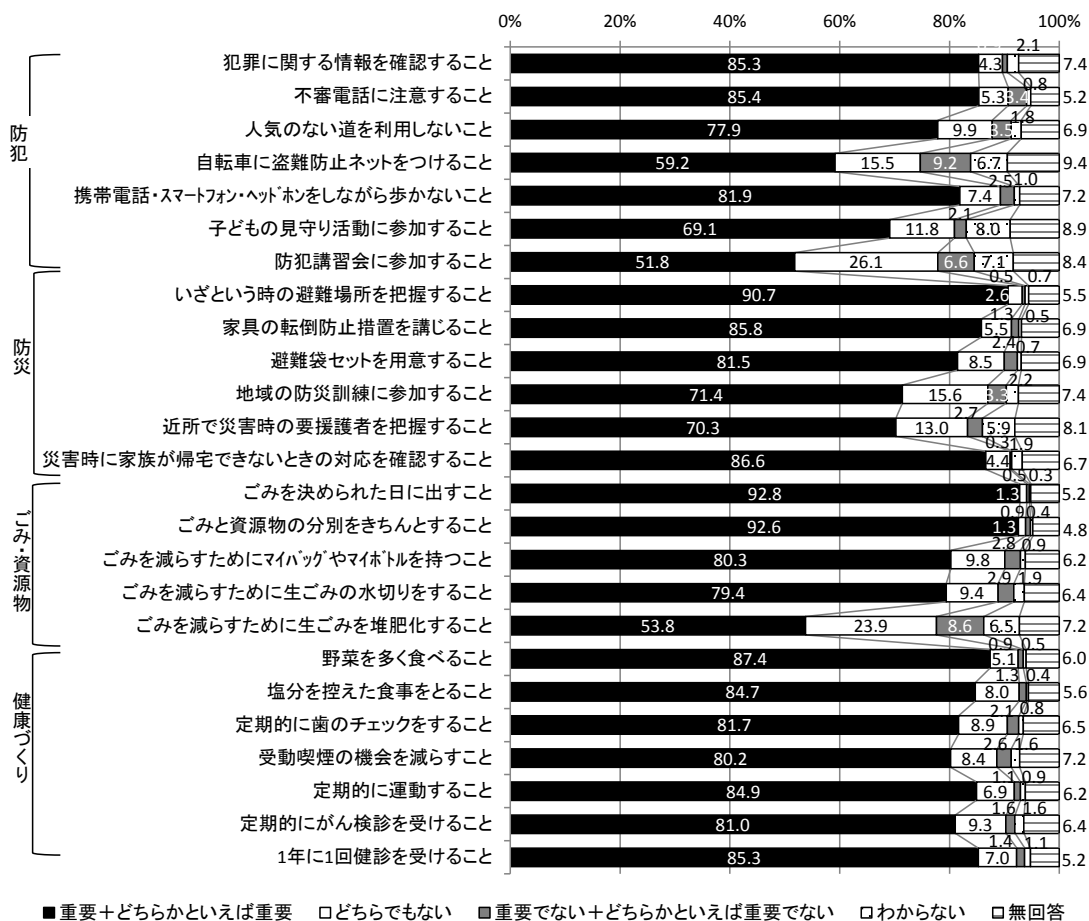
- ・男女とも「自分の病気や老後のこと」が最も多くなっている。また、男性は女性より「家族の健康や生活上の問題」が6.9ポイント高い。
- ・年齢別で見ると、20歳代では「景気や生活費のこと」、30歳代では「子どもの保育や教育のこと」、40歳代以上の世代では「自分の病気や老後のこと」が、それぞれ最も多くなっている。また、20歳代では「仕事や職場のこと」、40歳代では「子どもの保育や教育のこと」の数値が全体値より10ポイント以上高くなっている。

		合計	問2 近頃、ご自分やご家族の生活の事で心配ごとや困っていること													
			の自分の病気や老後のこと	上家族の健康や生活上の問題	が失業・倒産や収入減ること	仕事や職場のこと	と景気や生活費のこと	育子どもの保育や教育のこと	騒音	近隣からの悪臭・騒音	環境問題	事故や災害のこと	犯罪や防犯のこと	住宅のこと	その他	いることではない
	全体	1588	49.3	35.2	8.2	8.3	31.2	14.1	7.1	9.2	17.1	23.8	8.2	4.3	10.1	2.1
F1 性別	男性	691	51.8	39.5	9.4	9.4	31.1	11.9	8.4	9.3	17.4	23.3	8.4	3.6	10.0	1.2
	女性	847	46.9	32.6	7.2	7.9	32.0	16.8	6.4	9.1	17.2	25.4	7.6	5.1	9.9	2.0
F2 年齢(年代別)	20歳代	119	21.0	31.1	6.7	21.8	32.8	21.0	5.9	5.0	17.6	26.9	8.4	5.0	14.3	0.0
	30歳代	184	28.3	31.0	9.2	16.3	30.4	40.8	12.0	2.7	18.5	29.3	6.5	3.8	7.6	0.5
	40歳代	278	37.4	34.9	10.8	14.4	32.4	27.7	6.1	6.8	15.5	24.1	6.8	4.3	8.3	1.8
	50歳代	204	47.5	41.2	12.7	8.3	32.4	7.4	11.8	11.3	13.7	17.2	8.8	2.9	13.2	1.5
	60歳代	310	59.4	35.2	7.1	3.2	28.1	5.5	3.5	11.9	19.4	20.6	10.6	4.2	11.6	1.9
	70歳代以上	425	67.8	37.6	4.0	1.6	32.7	3.1	6.4	11.5	18.6	27.8	7.8	5.4	8.0	2.6

問3 次の各取組はどの程度重要だと思いますか。また、あなた自身はどの程度取り組んでいますか。
 (取組ごとに○は1つずつ)

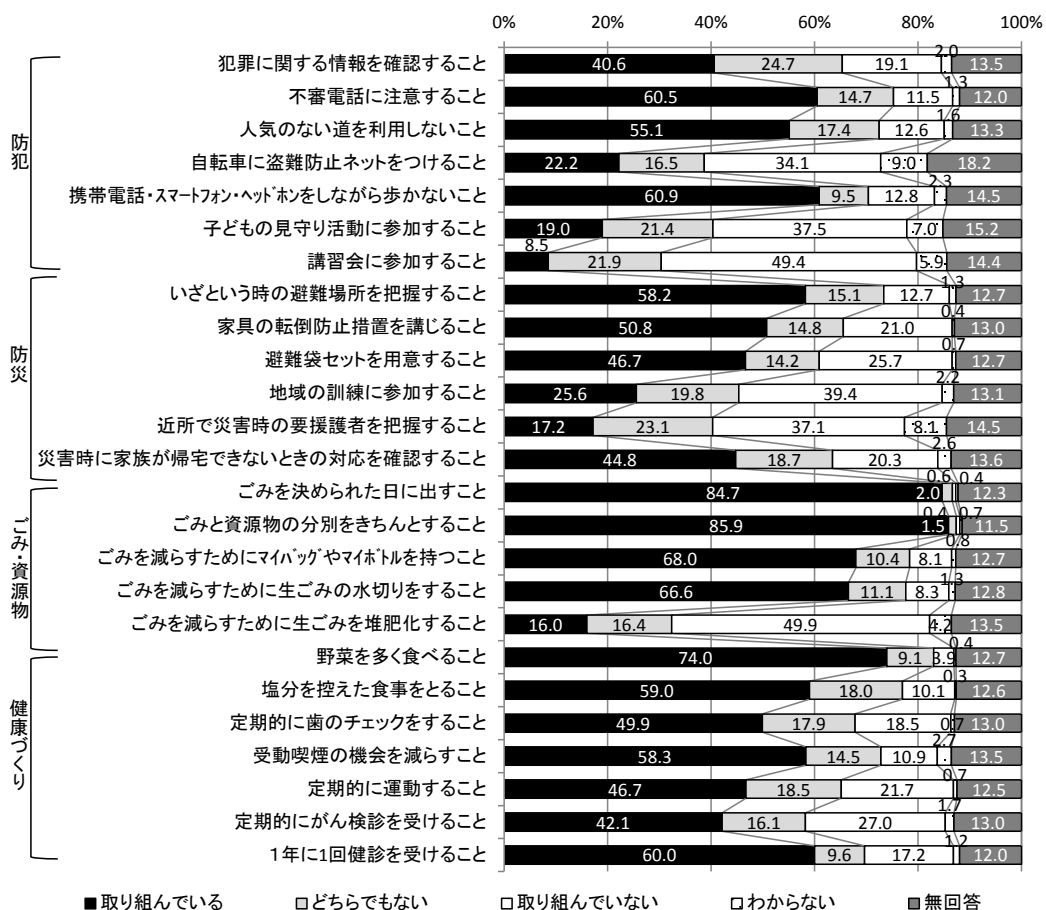
<重要度>

- ・「重要」と「どちらかといえば重要」を合わせて「重要度」をみると、最も重要度が高いのは「ごみ・資源物」カテゴリの「ごみを決められた日に出すこと」の92.8%、僅差で「ごみと資源物の分別をきちんとすること」の92.6%である。以下「いざという時の避難場所を把握すること」(90.7%・防災)、「野菜を多く食べること」(87.4%・健康づくり)、「災害時に家族が帰宅できないときの対応を確認すること」(86.6%・防災)が上位5項目となっている。
- ・重要度が8割を超えているのは、上記のほか「家具の転倒防止措置を講じること」(85.8%・防災)、「不審電話に注意すること」(85.4%・防犯)、「犯罪に関する情報を確認すること」(85.3%・防犯)、「1年に1回健診を受けること」(85.3%・健康づくり)、「定期的に運動すること」(84.9%・健康づくり)、「塩分を控えた食事をとること」(84.7%・健康づくり)、「携帯電話・スマートフォン・ヘッドホンをしながら歩かないこと・防犯」(81.9%)、「定期的に歯のチェックをすること」(81.7%・健康づくり)、「避難袋セットを用意すること」(81.5%・防災)、「定期的ながん検診を受けること」(81.0%・健康づくり)、「ごみを減らすためにマイバッグやマイボトルを持つこと」(80.3%・ごみ・資源物)、「受動喫煙の機会を減らすこと」(80.2%・健康づくり)で、計17項目となっている。



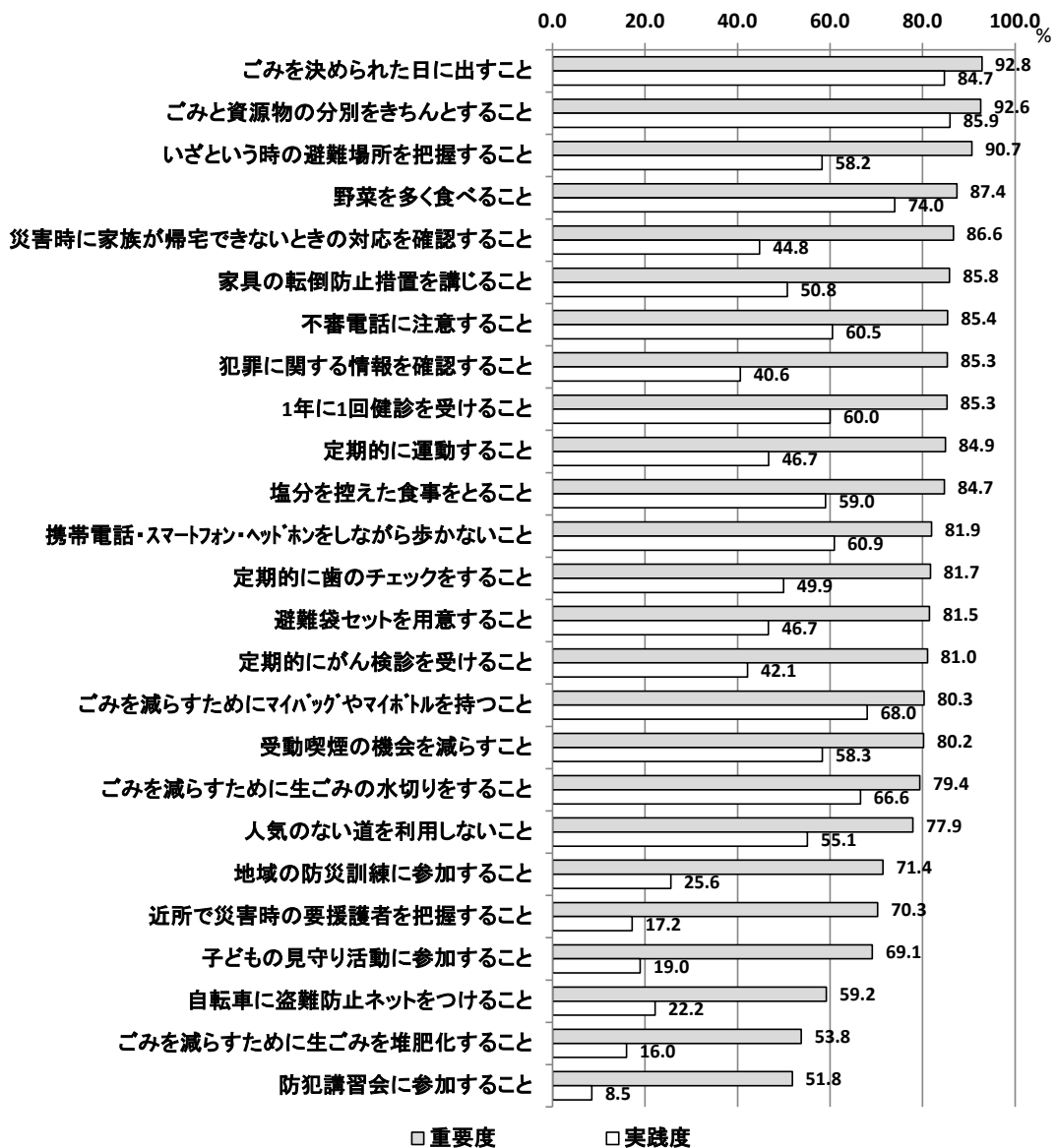
<実践度>

- ・「積極的に取り組んでいる」と「比較的取り組んでいる」を合わせて「実践度」をみると、最も実践度が高いのは「ごみ・資源物」カテゴリの「ごみと資源物の分別をきちんとすること」の85.9%である。次いで「ごみを決められた日に出すこと」（84.7%・ごみ・資源物）、「野菜を多く食べること」（74.0%・健康づくり）、「ごみを減らすためにマイバッグやマイボトルを持つこと」（68.0%・ごみ・資源物）、「ごみを減らすために生ごみの水切りをすること」（66.6%・ごみ資源物）が上位5項目となっている。
- ・実践度が5割を超えているのは、上記のほか「携帯電話・スマートフォン・ヘッドホンをしながらかかないこと」（60.9%・防犯）、「不審電話に注意すること」（60.5%・防犯）、「1年に1回健診を受けること」（60.0%・健康づくり）、「塩分を控えた食事をとること」（59.0%・健康づくり）、「受動喫煙の機会を減らすこと」（58.3%・健康づくり）、「いざという時の避難場所を把握すること」（58.2%・防災）、「人気のない道を利用しないこと」（55.1%・防犯）、「家具の転倒防止措置を講じること」（50.8%・防災）で、計13項目となっている。



<重要度と実践度の比較>

- ・「重要」と「どちらかといえば重要」を合わせた「重要度」と、「積極的に取り組んでいる」と「比較的取り組んでいる」を合わせた「実践度」をみると、重要度1位の「ごみを決められた日に出すこと」は実践度では2位、重要度2位の「ごみと資源物の分別をきちんとすること」は実践度1位で、上位2項目では同傾向となっているが、重要度3位の「いざという時の避難場所を把握すること」は実践度11位、重要度5位の「災害時に家族が帰宅できないときの対応を確認すること」は実践度17位、重要度6位の「家具の転倒防止措置を講じること」は実践度13位となっており、防災に関わる項目は重要度が高いのに対して実践度が低くなっている傾向にある。



■ 年齢別・居住地区別 各取組の重要度と実践度について（問3×F2, 3）

防犯－1 犯罪に関する情報を確認すること

<重要度>

- ・年齢別では、いずれの年代でも「重要」が最も多く、特に30歳代から50歳代では9割を超えている。
- ・居住地区別では、いずれの地区でも「重要」が6割台～8割台で最も多くなっている。上飯田団地はややサンプル数が少ないが、「重要」の数値が低い一方「どちらでもない」が全体値に比べて高い。

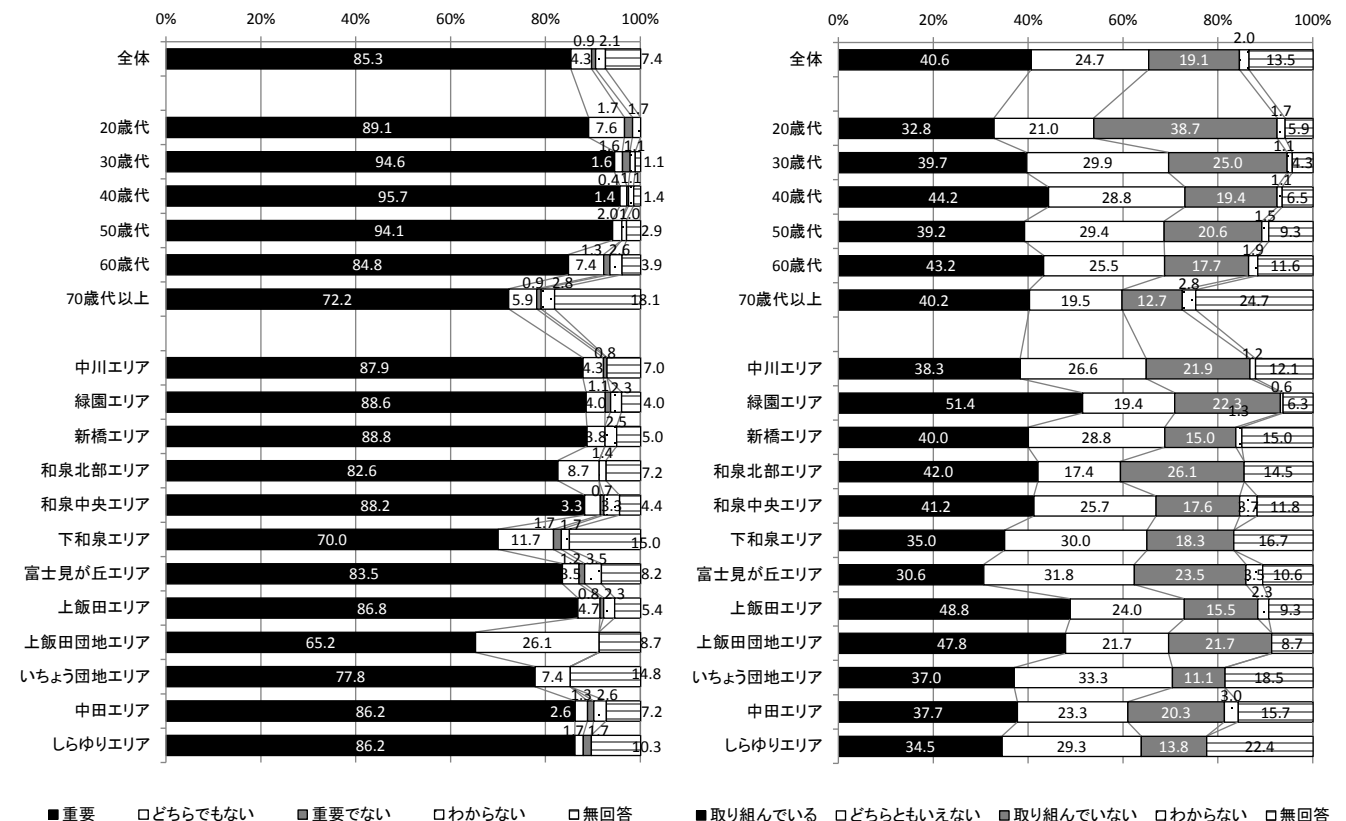
<実践度>

- ・年齢別では、20歳代で「取り組んでいない」、30歳代以上の世代では「取り組んでいる」が最も多くなっている。
- ・居住地区別では、富士見が丘のみ「どちらともいえない」、それ以外の地区では「取り組んでいる」が最も多くなっている。

防犯－1 犯罪に関する情報を確認すること

<重要度>

<実践度>



※<重要度> 「重要」＝「重要」「やや重要」の合計
「重要でない」＝「あまり重要でない」「重要でない」の合計
<実践度> 「取り組んでいる」＝「積極的に取り組んでいる」「比較的取り組んでいる」の合計
「取り組んでいない」＝「あまり取り組んでいない」「全く取り組んでいない」の合計

防犯-2 不審電話に注意すること

<重要度>

- ・いずれの年代でも「重要」が最も多く、8割台となっている。
- ・いずれの地区でも「重要」が最も多く、6割台～9割台となっており、しらゆりでは9割を超えている。

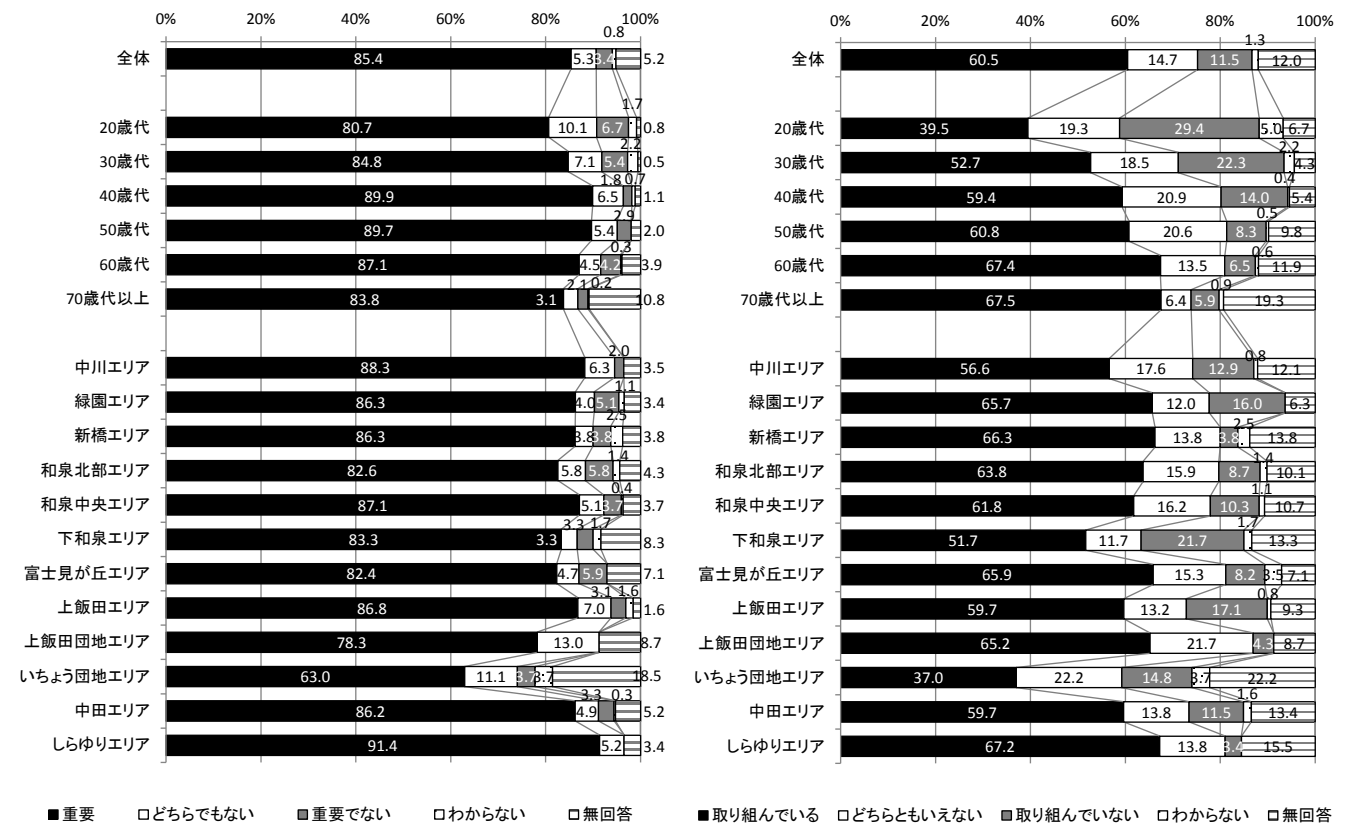
<実践度>

- ・いずれの年代でも「取り組んでいる」が最も多く、年齢層が高いほど実践度も高くなっている。また20歳代、30歳代では「取り組んでいない」が全体値を10ポイント以上上回っている。
- ・いずれの地区でも「取り組んでいる」が最も多いが、いちょう団地では数値が低い。下和泉では「取り組んでいない」が全体値を10ポイント以上上回っている。

防犯-2 不審電話に注意すること

<重要度>

<実践度>



※<重要度> 「重要」 = 「重要」「やや重要」の合計

「重要でない」 = 「あまり重要でない」「重要でない」の合計

<実践度> 「取り組んでいる」 = 「積極的に取り組んでいる」「比較的取り組んでいる」の合計

「取り組んでいない」 = 「あまり取り組んでいない」「全く取り組んでいない」の合計

防犯-3 人気のない道を利用しないこと

<重要度>

- ・いずれの年代でも「重要」が最も多く、7割弱～8割台となっている。
- ・いずれの地区でも「重要」が最も多く6割台～8割台となっている。上飯田団地では「どちらでもない」、いちょう団地では「重要でない」の数値が全体値に比べて高くなっている。

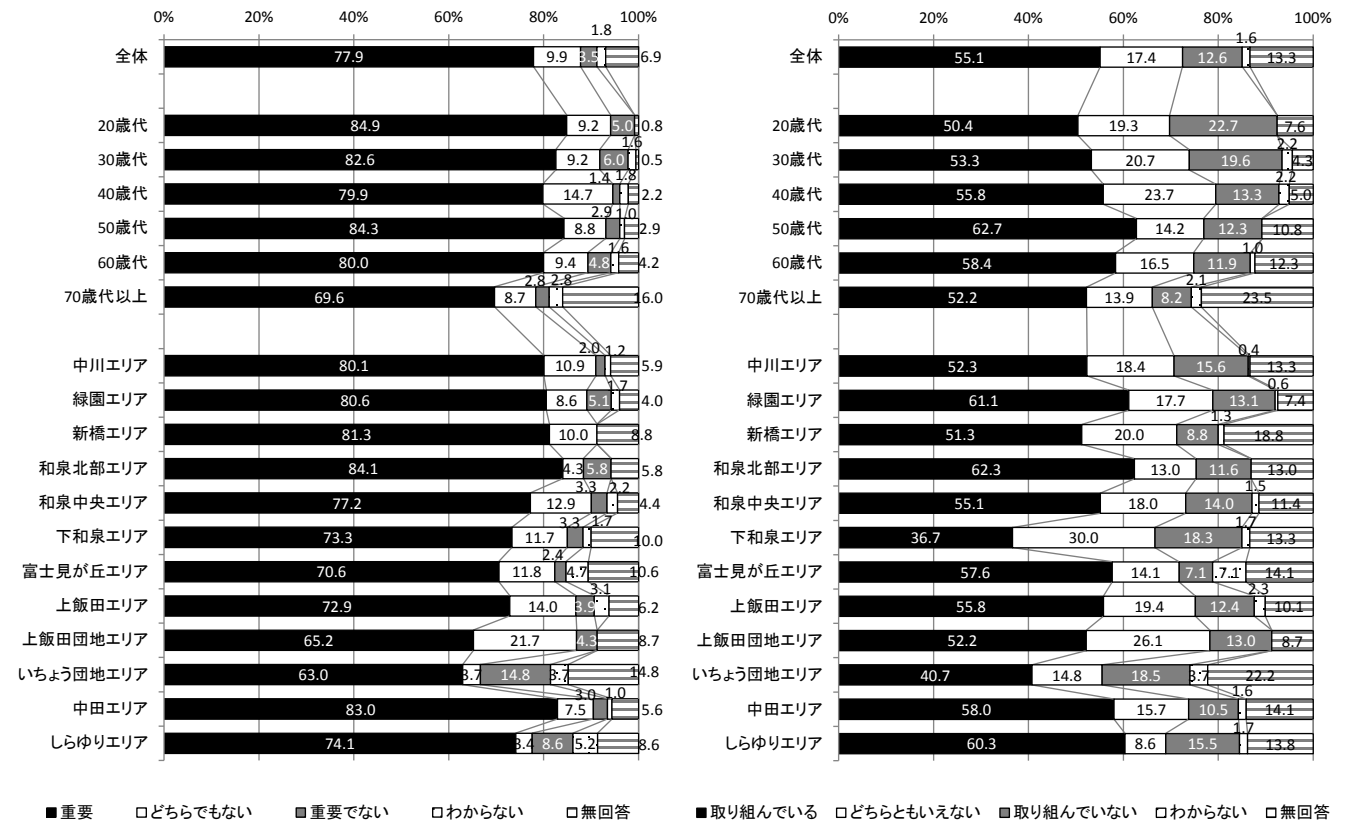
<実践度>

- ・いずれの年代でも「取り組んでいる」が5割台～6割台で、最も多くなっている。また、20歳代では「取り組んでいない」の数値が全体値に比べて高くなっている。
- ・いずれの地区でも「取り組んでいる」が最も多くなっているが、下和泉、いちょう団地では数値が低い。また、下和泉では「どちらともいえない」の数値が全体値に比べて高くなっている。

防犯-3 人気のない道を利用しないこと

<重要度>

<実践度>



※<重要度> 「重要」 = 「重要」「やや重要」の合計
「重要でない」 = 「あまり重要でない」「重要でない」の合計
<実践度> 「取り組んでいる」 = 「積極的に取り組んでいる」「比較的取り組んでいる」の合計
「取り組んでいない」 = 「あまり取り組んでいない」「全く取り組んでいない」の合計

防犯－4 自転車に盗難防止ネットをつけること

<重要度>

- ・いずれの年代でも「重要」が最も多く、5～6割台となっている。
- ・いずれの地区でも「重要」が最も多く、4割台～6割台である。和泉北部と上飯田団地では「どちらでもない」の数值が全体値に比べて高くなっている。

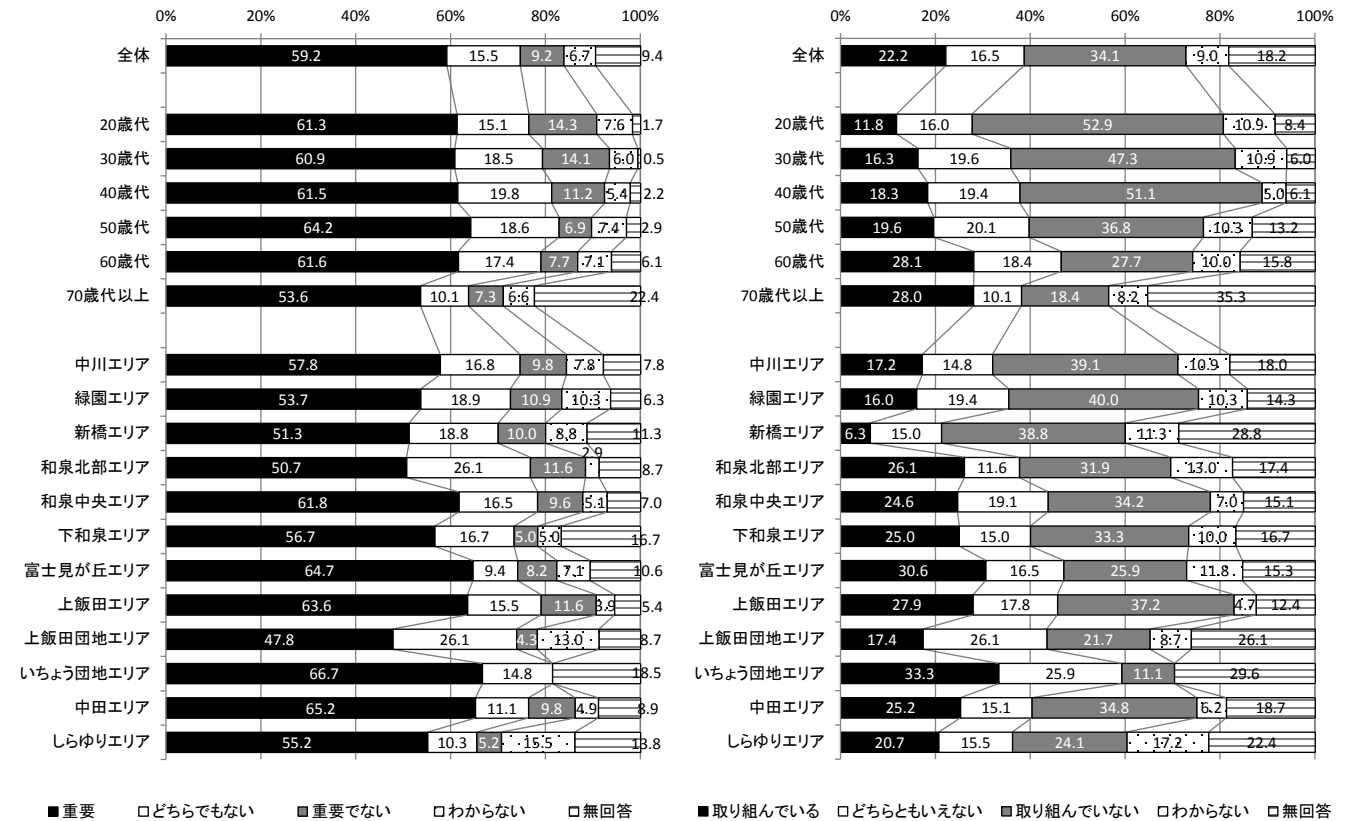
<実践度>

- ・20歳代から50歳代では「取り組んでいない」、60歳代以上の世代では「取り組んでいる」が最も多く、年齢層が高いほど実践度も高くなっている。
- ・富士見が丘、いちよう団地では「取り組んでいる」、上飯田団地では「どちらともいえない」、それ以外の地区では「取り組んでいない」が最も多くなっている。また、新橋での実践度が低くなっている。

防犯－4 自転車に盗難防止ネットをつけること

<重要度>

<実践度>



※<重要度> 「重要」＝「重要」「やや重要」の合計

「重要でない」＝「あまり重要でない」「重要でない」の合計

<実践度> 「取り組んでいる」＝「積極的に取り組んでいる」「比較的取り組んでいる」の合計

「取り組んでいない」＝「あまり取り組んでいない」「全く取り組んでいない」の合計

防犯-5 携帯電話・スマートフォン・ヘッドホンをしてながら歩かないこと

<重要度>

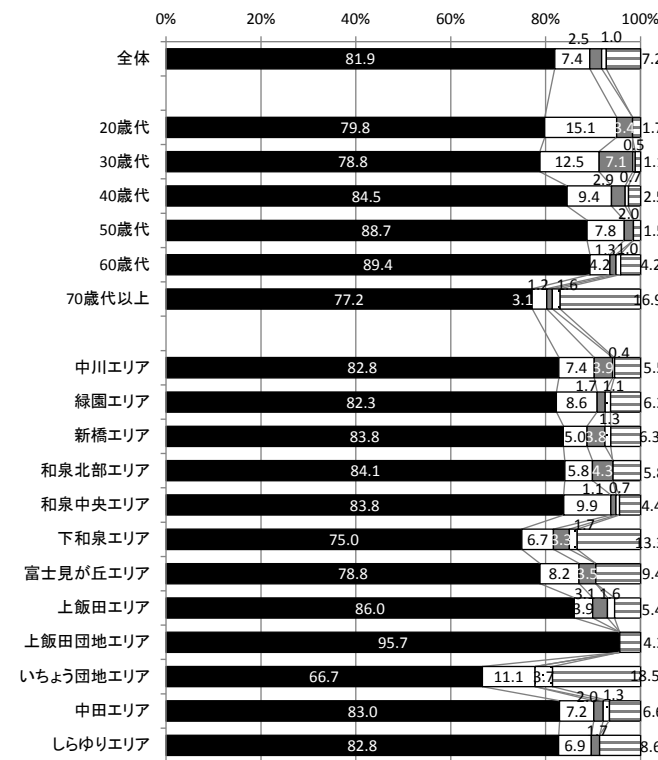
- ・いずれの年代でも「重要」が最も多く、7割台後半～8割台を占めている。
- ・いずれの地区でも「重要」が最も多く、6割台～9割台となっている。上飯田団地で9割を超える一方、いちよう団地では数値が低い。

<実践度>

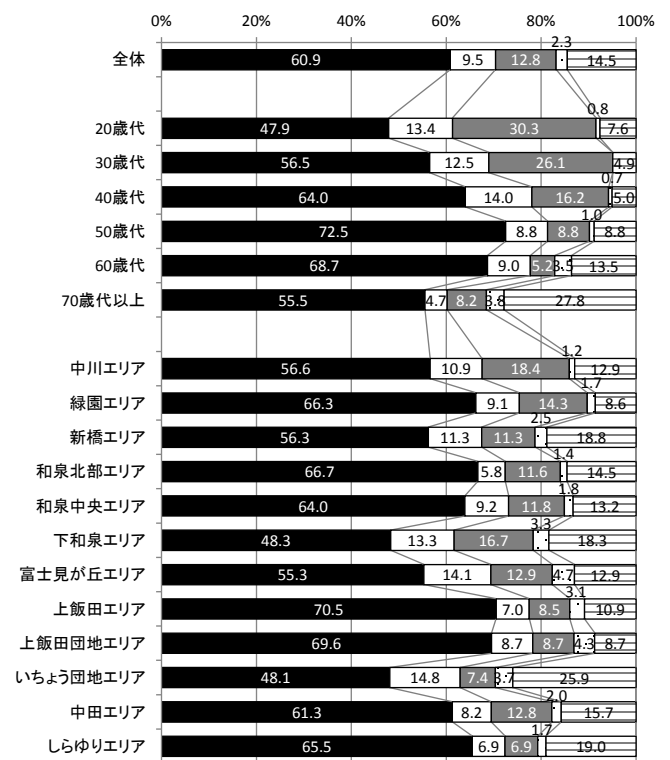
- ・いずれの年代でも「取り組んでいる」が最も多く5割弱から7割台となっているが、20歳代では数値が低く、20歳代、30歳代では「取り組んでいない」の数値も全体値に比べて10ポイント以上高くなっている。
- ・いずれの地区でも「取り組んでいる」が5割弱から7割台となっている。

防犯-5 携帯電話・スマートフォン・ヘッドホンをしてながら歩かないこと

<重要度>



<実践度>



■重要 □どちらでもない ■重要でない □わからない □無回答 ■取り組んでいる □どちらともいえない ■取り組んでいない □わからない □無回答

※<重要度> 「重要」＝「重要」「やや重要」の合計

「重要でない」＝「あまり重要でない」「重要でない」の合計

<実践度> 「取り組んでいる」＝「積極的に取り組んでいる」「比較的取り組んでいる」の合計

「取り組んでいない」＝「あまり取り組んでいない」「全く取り組んでいない」の合計

防犯-6 子どもの見守り活動に参加すること

<重要度>

- ・いずれの年代でも「重要」が最も多く、70歳代以上では5割台だが、それ以外の世代では7～8割台となっている。
- ・いずれの地区でも「重要」が最も多いが数値に差があり、中川、緑園、和泉北部、和泉中央、上飯田、中田で7割を超えているのに対し、上飯田団地では数値が低く4割に達しておらず、「どちらでもない」の数値が全体値に比べて高くなっている。

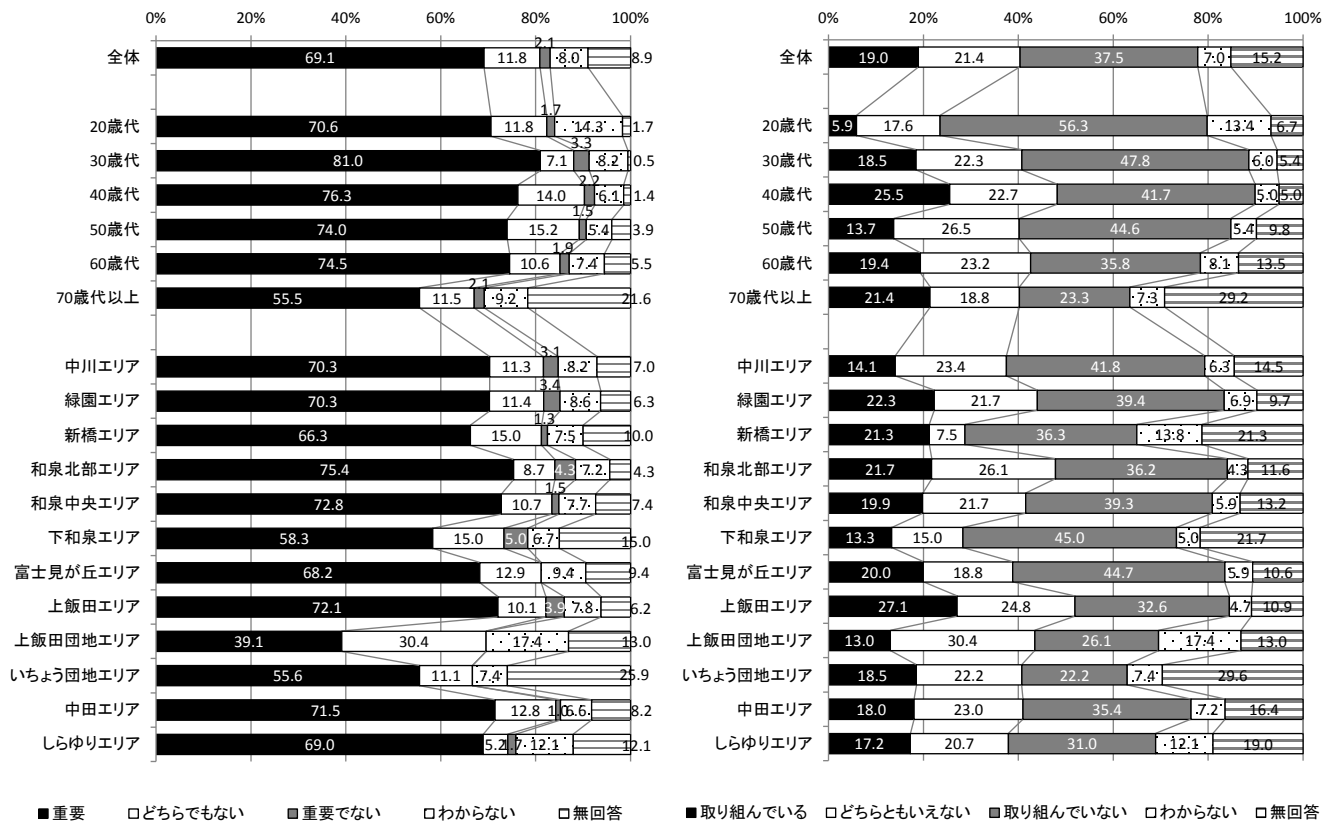
<実践度>

- ・いずれの年代でも「取り組んでいない」が最も多く、特に若い年齢層ほど数値が高くなっている。「取り組んでいる」の数値が最も高いのは40歳代、次いで70歳代以上である。
- ・上飯田団地では「どちらともいえない」、いちょう団地では「どちらともいえない」「取り組んでいない」が同率、それ以外の地区では「取り組んでいない」が最も多くなっている。「取り組んでいる」の数値が最も高いのは上飯田、次いで緑園である。

防犯-6 子どもの見守り活動に参加すること

<重要度>

<実践度>



※<重要度> 「重要」 = 「重要」「やや重要」の合計

「重要でない」 = 「あまり重要でない」「重要でない」の合計

<実践度> 「取り組んでいる」 = 「積極的に取り組んでいる」「比較的取り組んでいる」の合計

「取り組んでいない」 = 「あまり取り組んでいない」「全く取り組んでいない」の合計

防犯－7 防犯講習会に参加すること

<重要度>

- ・20歳代では「どちらでもない」、30歳代以上の世代では「重要」が最も多くなっている。
- ・いずれの地区でも「重要」が最も多く、4割台～6割台で、いちょう団地のみ6割を超えている。

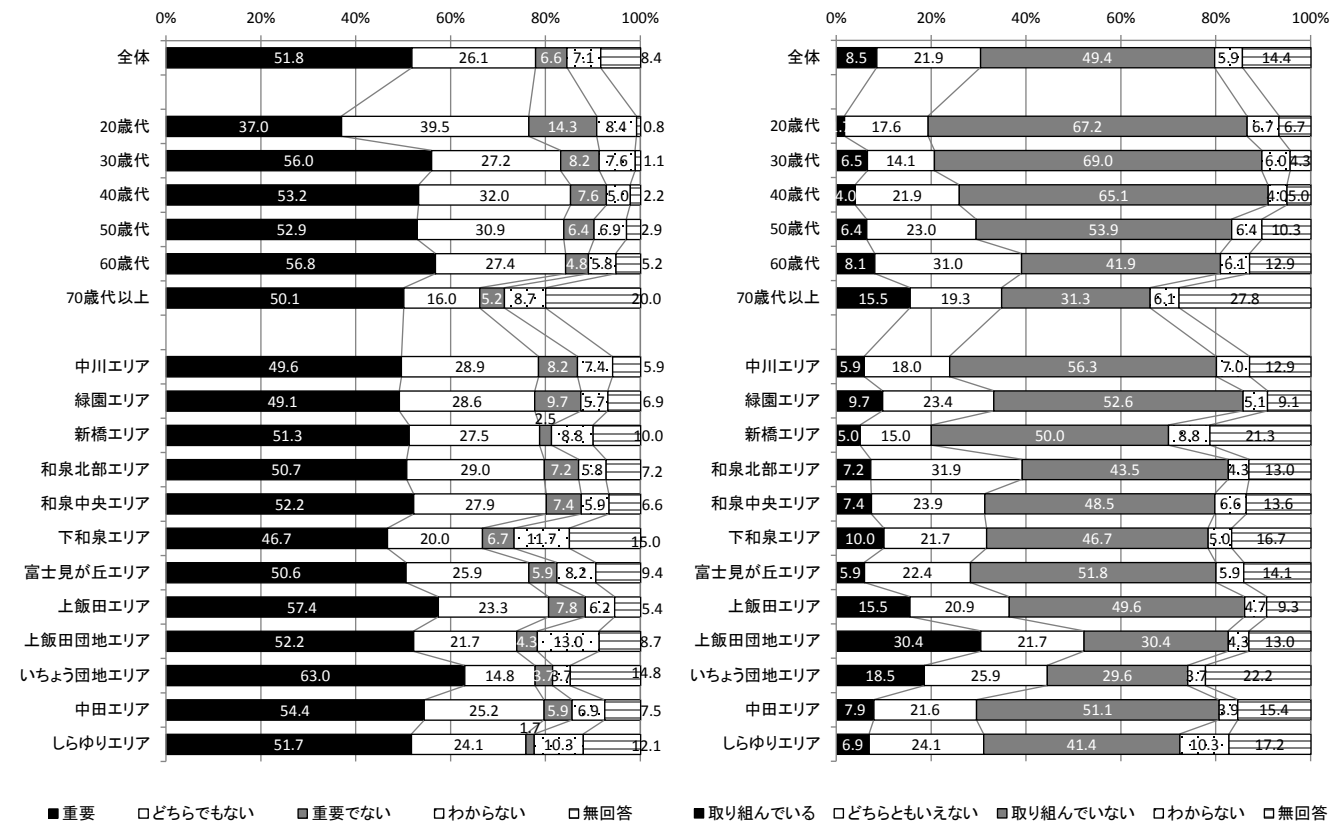
<実践度>

- ・いずれの年代でも「取り組んでいない」が最も多く、30歳代を中心に若い年齢層で数値が高くなっている。
- ・上飯田団地では「取り組んでいる」「取り組んでいない」が同率、それ以外の地区では「取り組んでいない」が最も多くなっている。また、いちょう団地で「取り組んでいる」、和泉北部で「どちらともいえない」の数値が全体値に比べて10ポイント高くなっている。

防犯－7 防犯講習会に参加すること

<重要度>

<実践度>



※<重要度> 「重要」＝「重要」「やや重要」の合計

「重要でない」＝「あまり重要でない」「重要でない」の合計

<実践度> 「取り組んでいる」＝「積極的に取り組んでいる」「比較的取り組んでいる」の合計

「取り組んでいない」＝「あまり取り組んでいない」「全く取り組んでいない」の合計

防災－1 いざという時の避難場所を把握すること

<重要度>

- ・いずれの年齢でも「重要」が圧倒的に多く、60歳代までの世代では9割を超えている。
- ・いずれの地区でも「重要」が圧倒的に多く、中川、緑園、新橋、和泉中央、富士見が丘、上飯田、中田で9割を超えている。

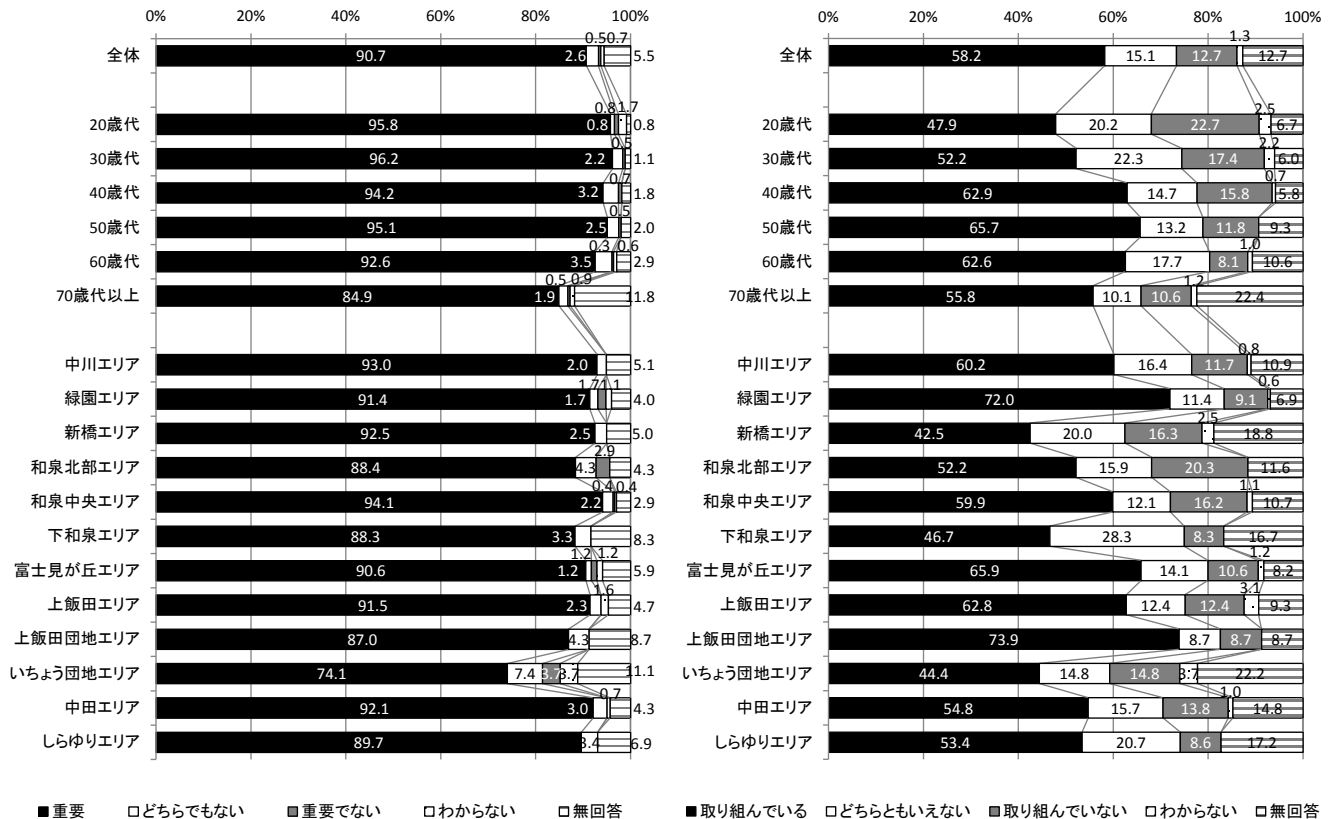
<実践度>

- ・いずれの年代でも「取り組んでいる」が4割台～6割台で最も多くなっている。20歳代では実践度が低くなっている。
- ・いずれの地区でも「取り組んでいる」が最も多く、緑園、上飯田団地で7割を超えている。一方、新橋、いちょう団地では実践度が低く、下和泉で「どちらともいえない」の数値が全体値に比べて10ポイント以上高くなっている。

防災－1 いざという時の避難場所を把握すること

<重要度>

<実践度>



※<重要度> 「重要」＝「重要」「やや重要」の合計
「重要でない」＝「あまり重要でない」「重要でない」の合計
<実践度> 「取り組んでいる」＝「積極的に取り組んでいる」「比較的取り組んでいる」の合計
「取り組んでいない」＝「あまり取り組んでいない」「全く取り組んでいない」の合計

防災-2 家具の転倒防止措置を講じること

<重要度>

- ・いずれの年齢でも「重要」が最も多く、20歳代、30歳代の若い世代で9割を超えている。
- ・いずれの地区でも「重要」が7割台～8割台を占める。

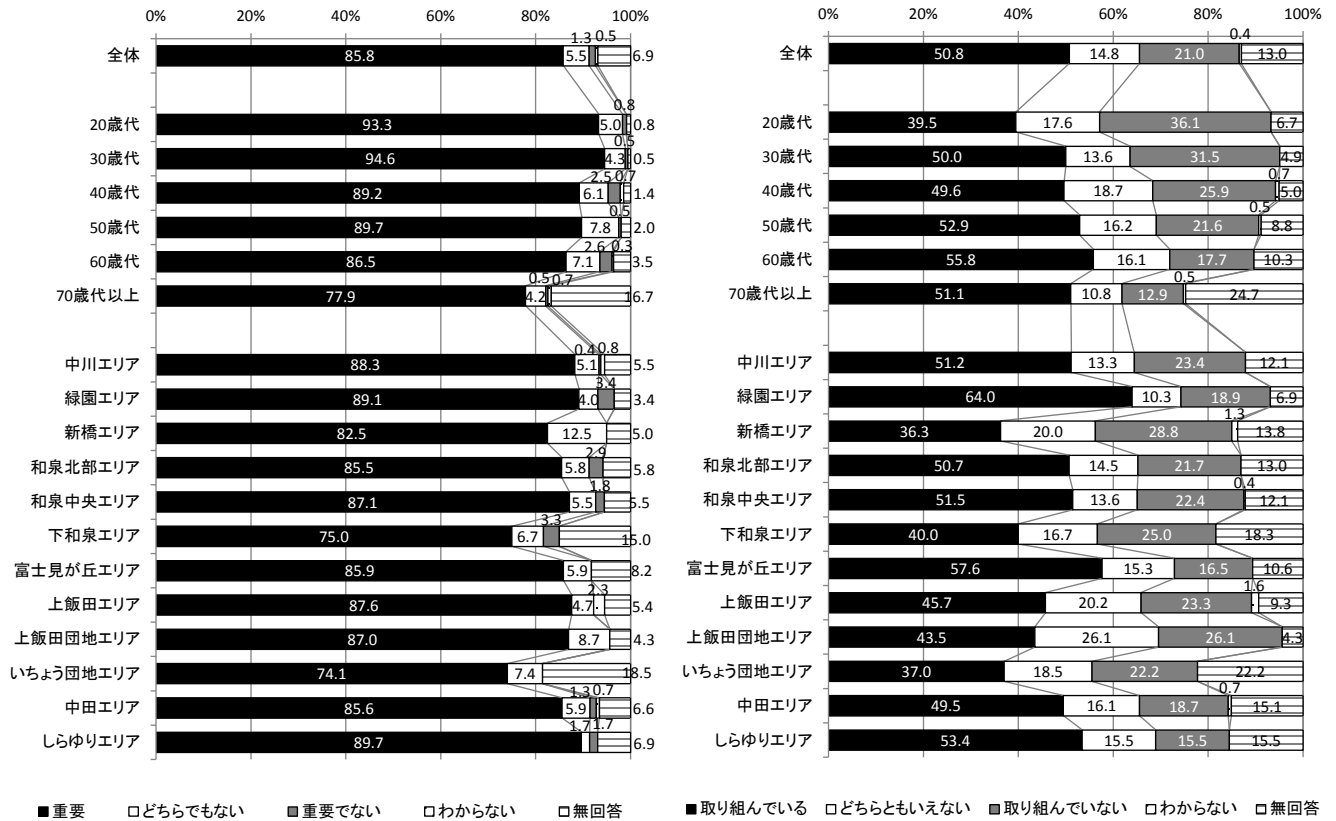
<実践度>

- ・いずれの年代でも「取り組んでいる」が4割弱～5割台で最も多くなっている。20歳代では実践度が低く、20歳代、30歳代では「取り組んでいない」の数値が全体値に比べて10ポイント以上高くなっている。
- ・いずれの地区でも「取り組んでいる」が最も多く、最も実践度が高いのは緑園である。新橋、いちょう団地で実践度が低く、上飯田団地で「どちらともいえない」の数値が全体値に比べて10ポイント以上高くなっている。

防災-2 家具の転倒防止措置を講じること

<重要度>

<実践度>



※<重要度> 「重要」 = 「重要」「やや重要」の合計
 「重要でない」 = 「あまり重要でない」「重要でない」の合計
 <実践度> 「取り組んでいる」 = 「積極的に取り組んでいる」「比較的に取り組んでいる」の合計
 「取り組んでいない」 = 「あまり取り組んでいない」「全く取り組んでいない」の合計

防災-3 避難袋セットを用意すること

<重要度>

- ・いずれの年齢でも「重要」が最も多く、20歳代、30歳代の若い世代で9割を超えている。
- ・いずれの地区でも「重要」が6割台～8割台を占めるが、下和泉、いちょう団地で数値が低い。

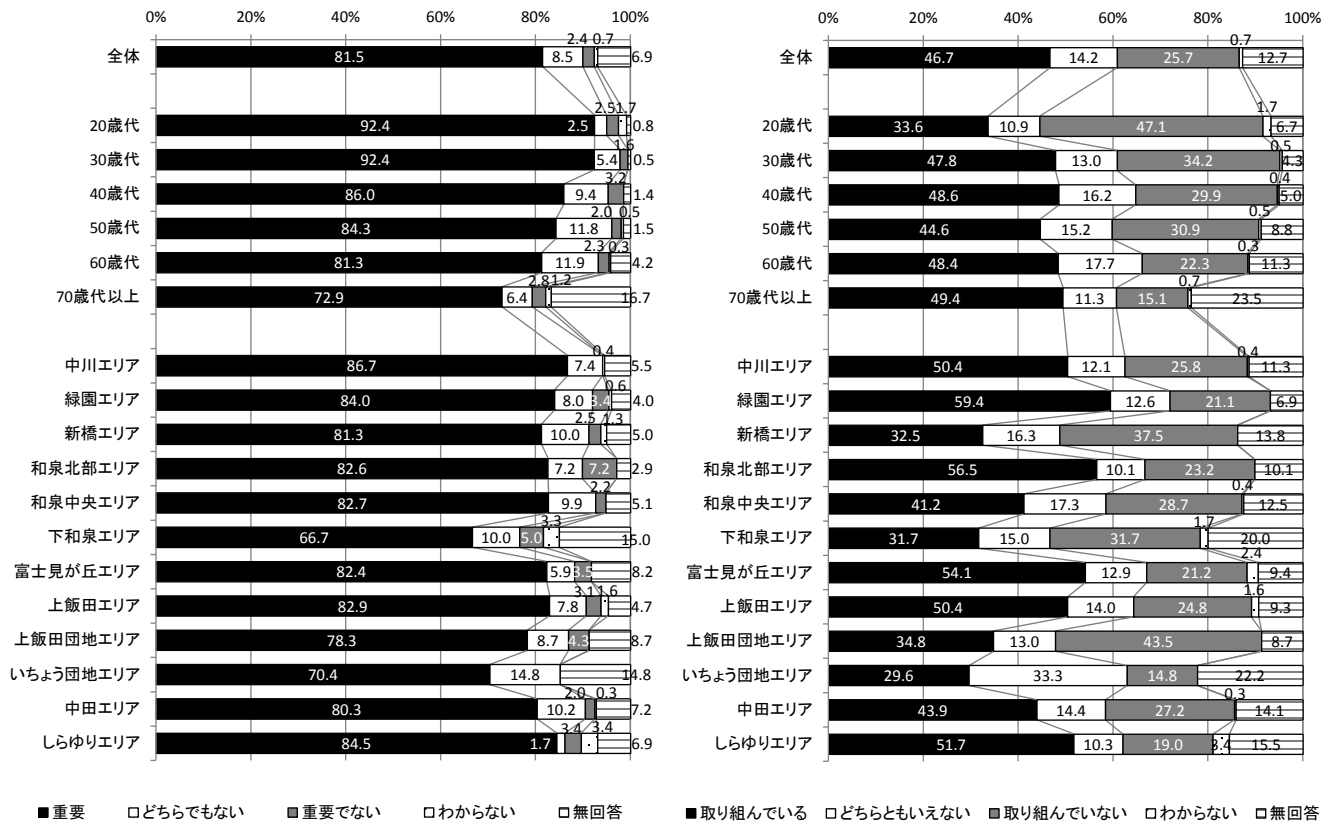
<実践度>

- ・20歳代では「取り組んでいない」、30歳代以上の世代では「取り組んでいる」が最も多くなっており、30歳代を境に傾向が分かれた。
- ・新橋、上飯田団地で「取り組んでいない」、いちょう団地で「どちらともいえない」、下和泉で「取り組んでいる」「取り組んでいない」が同率、それ以外の地区では「取り組んでいる」が最も多くなっている。

防災-3 避難袋セットを用意すること

<重要度>

<実践度>



※<重要度> 「重要」＝「重要」「やや重要」の合計

「重要でない」＝「あまり重要でない」「重要でない」の合計

<実践度> 「取り組んでいる」＝「積極的に取り組んでいる」「比較的取り組んでいる」の合計

「取り組んでいない」＝「あまり取り組んでいない」「全く取り組んでいない」の合計

防災-4 地域の防災訓練に参加すること

<重要度>

- ・いずれの年齢でも「重要」が最も多く、6割台～7割台となっている。
- ・いずれの地区でも「重要」が最も多く、6割台～7割台となっており、顕著な地域差は見られない。

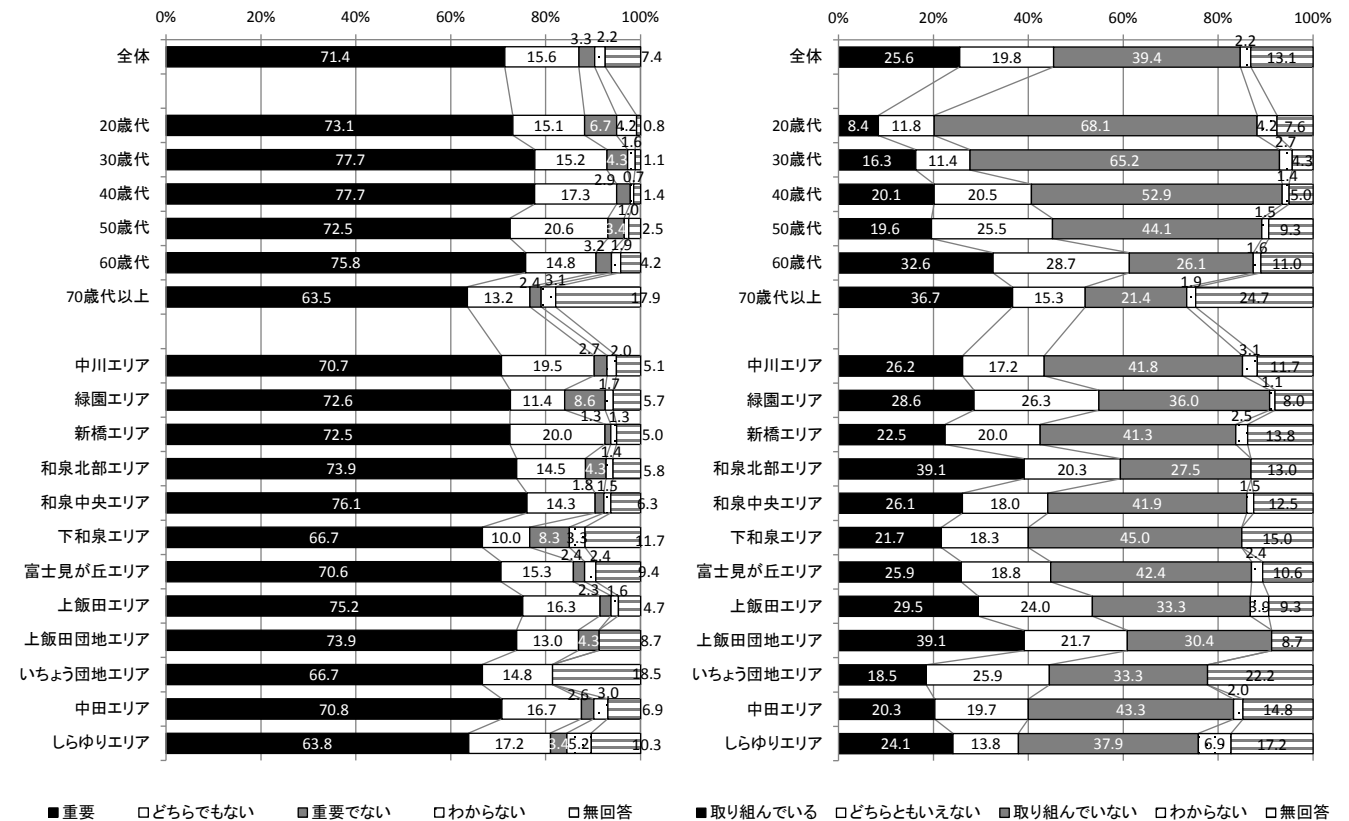
<実践度>

- ・20歳代から50歳代までの世代では「取り組んでいない」、60歳代以上の世代では「取り組んでいる」が最も多くなっており、60歳代を境に傾向が分かれた。
- ・和泉北部と上飯田団地で「取り組んでいる」、それ以外の地区では「取り組んでいない」が最も多くなっている。

防災-4 地域の防災訓練に参加すること

<重要度>

<実践度>



※<重要度> 「重要」 = 「重要」「やや重要」の合計

「重要でない」 = 「あまり重要でない」「重要でない」の合計

<実践度> 「取り組んでいる」 = 「積極的に取り組んでいる」「比較的取り組んでいる」の合計

「取り組んでいない」 = 「あまり取り組んでいない」「全く取り組んでいない」の合計

防災-5 近所で災害時の要援護者を把握すること

<重要度>

- ・いずれの年齢でも「重要」が最も多く、30歳代で8割を超えている。
- ・いずれの地区でも「重要」が最も多く、6割弱～7割台となっている。また、しらゆりでは「わからない」の数値が全体値より10ポイント以上高くなっている。

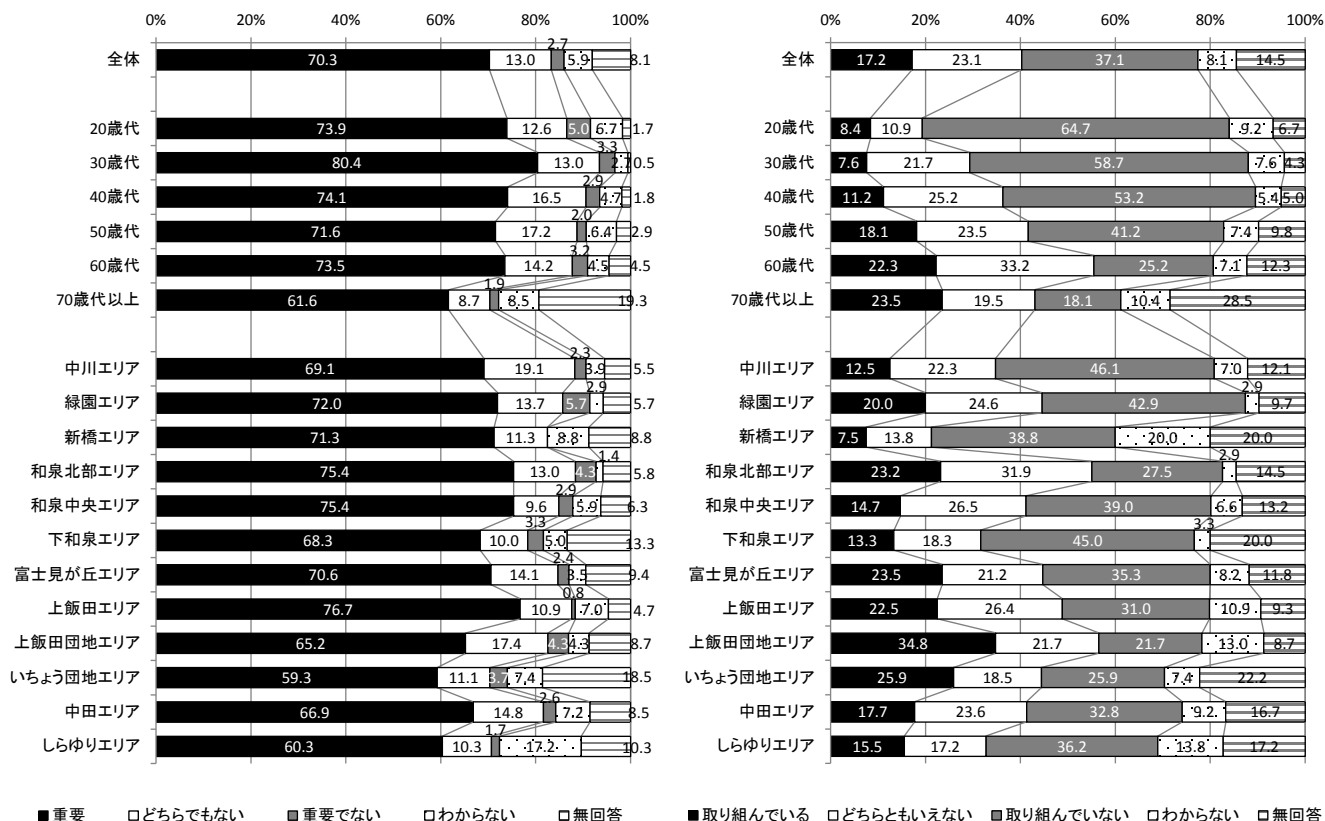
<実践度>

- ・20歳代から50歳代までの世代では「取り組んでいない」、60歳代では「どちらともいえない」、70歳代以上の世代では「取り組んでいる」が最も多くなっており、年齢層が高いほど実践度も高くなっている。
- ・上飯田団地で「取り組んでいる」、和泉北部で「どちらともいえない」、いちょう団地では「取り組んでいる」「取り組んでいない」が同率、それ以外の地区では「取り組んでいない」が最も多くなっている。新橋では実践度が低く、「わからない」の数値が全体値に比べて10ポイント以上高くなっている。

防災-5 近所で災害時の要援護者を把握すること

<重要度>

<実践度>



※<重要度> 「重要」 = 「重要」「やや重要」の合計
 「重要でない」 = 「あまり重要でない」「重要でない」の合計
 <実践度> 「取り組んでいる」 = 「積極的に取り組んでいる」「比較的取り組んでいる」の合計
 「取り組んでいない」 = 「あまり取り組んでいない」「全く取り組んでいない」の合計

防災－6 災害時に家族が帰宅できないときの対応を確認すること

<重要度>

- ・いずれの年齢でも「重要」が最も多く、70歳代以上で7割強なのを除き9割を超えている。
- ・いずれの地区でも「重要」が最も多く、特に緑園では9割強、和泉北部では約9割となっている。

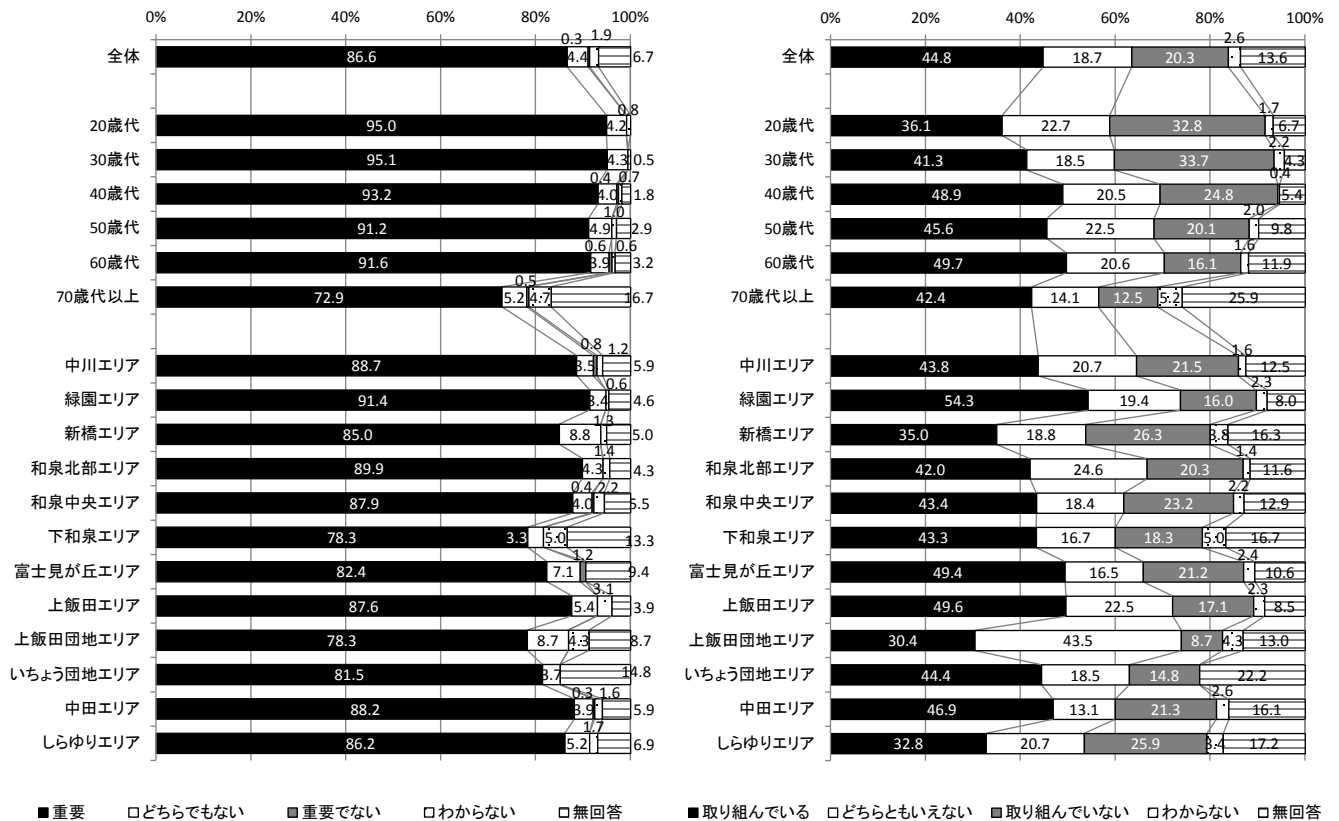
<実践度>

- ・いずれの世代でも「取り組んでいる」が3割台～4割台で最も多くなっている。また、20歳代、30歳代では「取り組んでいない」の数値が全体値に比べて10ポイント以上高くなっている。
- ・上飯田団地で「わからない」、それ以外の地区では「取り組んでいる」が最も多くなっている。実践度が最も高いのは緑園である。

防災－6 災害時に家族が帰宅できないときの対応を確認すること

<重要度>

<実践度>



※<重要度> 「重要」＝「重要」「やや重要」の合計
「重要でない」＝「あまり重要でない」「重要でない」の合計
<実践度> 「取り組んでいる」＝「積極的に取り組んでいる」「比較的取り組んでいる」の合計
「取り組んでいない」＝「あまり取り組んでいない」「全く取り組んでいない」の合計

ごみ・資源物-1 ごみを決められた日に出すこと

<重要度>

- ・いずれの年齢でも「重要」が圧倒的に多く、9割弱～9割台後半の高い水準となっている。最も数値が高いのは20歳代である。
- ・いずれの地区でも「重要」が8割台～9割台を占め、顕著な地域差は見られない。

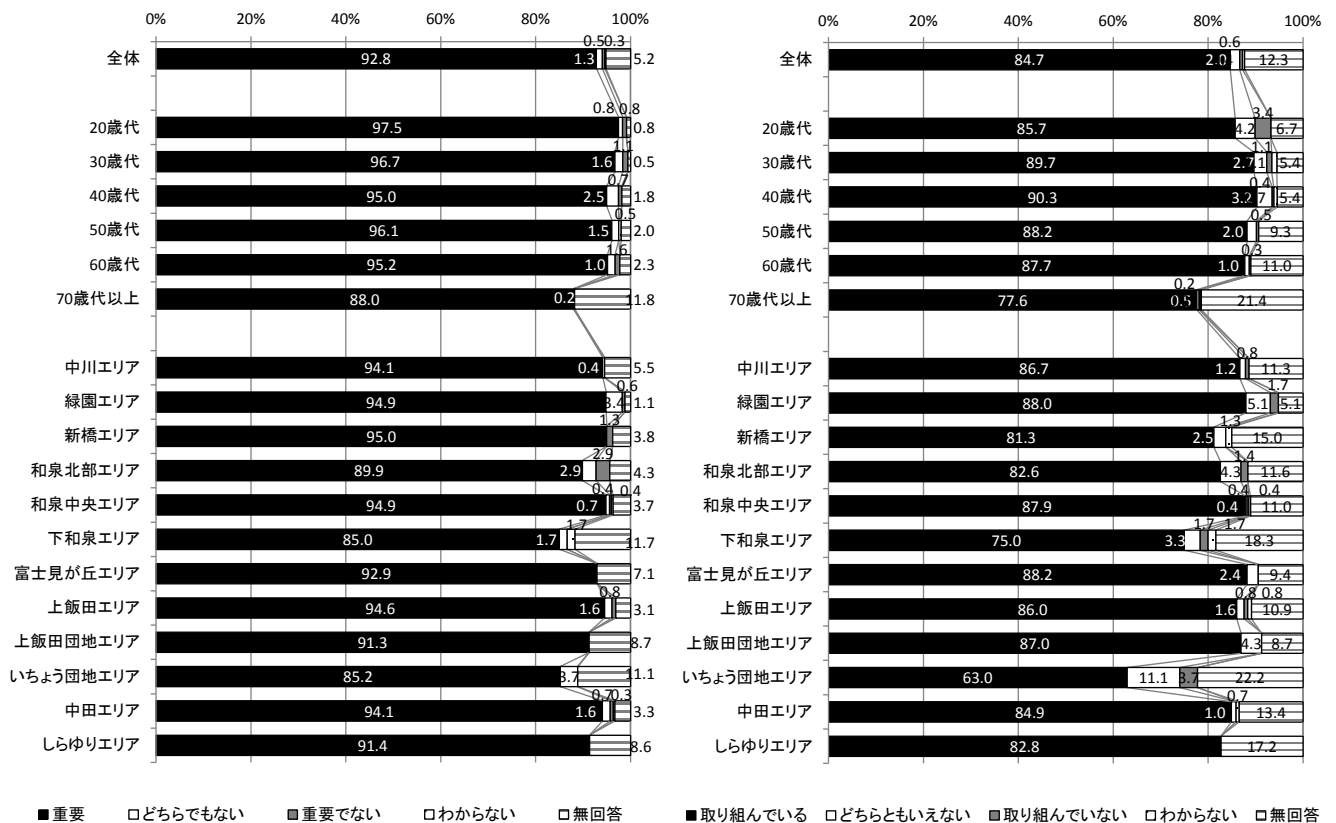
<実践度>

- ・いずれの世代でも「取り組んでいる」が8割弱～9割台で最も多くなっている。最も実践度が高いのは40歳代で9割に達している。
- ・いずれの地区でも「取り組んでいる」が6割台～8割台で最も多くなっている。いちょう団地で実践度が低くなっている。

ごみ・資源物-1 ごみを決められた日に出すこと

<重要度>

<実践度>



※<重要度> 「重要」 = 「重要」「やや重要」の合計

「重要でない」 = 「あまり重要でない」「重要でない」の合計

<実践度> 「取り組んでいる」 = 「積極的に取り組んでいる」「比較的取り組んでいる」の合計

「取り組んでいない」 = 「あまり取り組んでいない」「全く取り組んでいない」の合計

ごみ・資源物-2 ごみと資源物の分別をきちんとすること

<重要度>

- ・いずれの年齢でも「重要」が圧倒的に多く、9割弱～9割後半の高い水準となっている。
- ・いずれの地区でも「重要」が8割台～9割台を占める。いちょう団地では8割前半で他と比べて数値が低い。

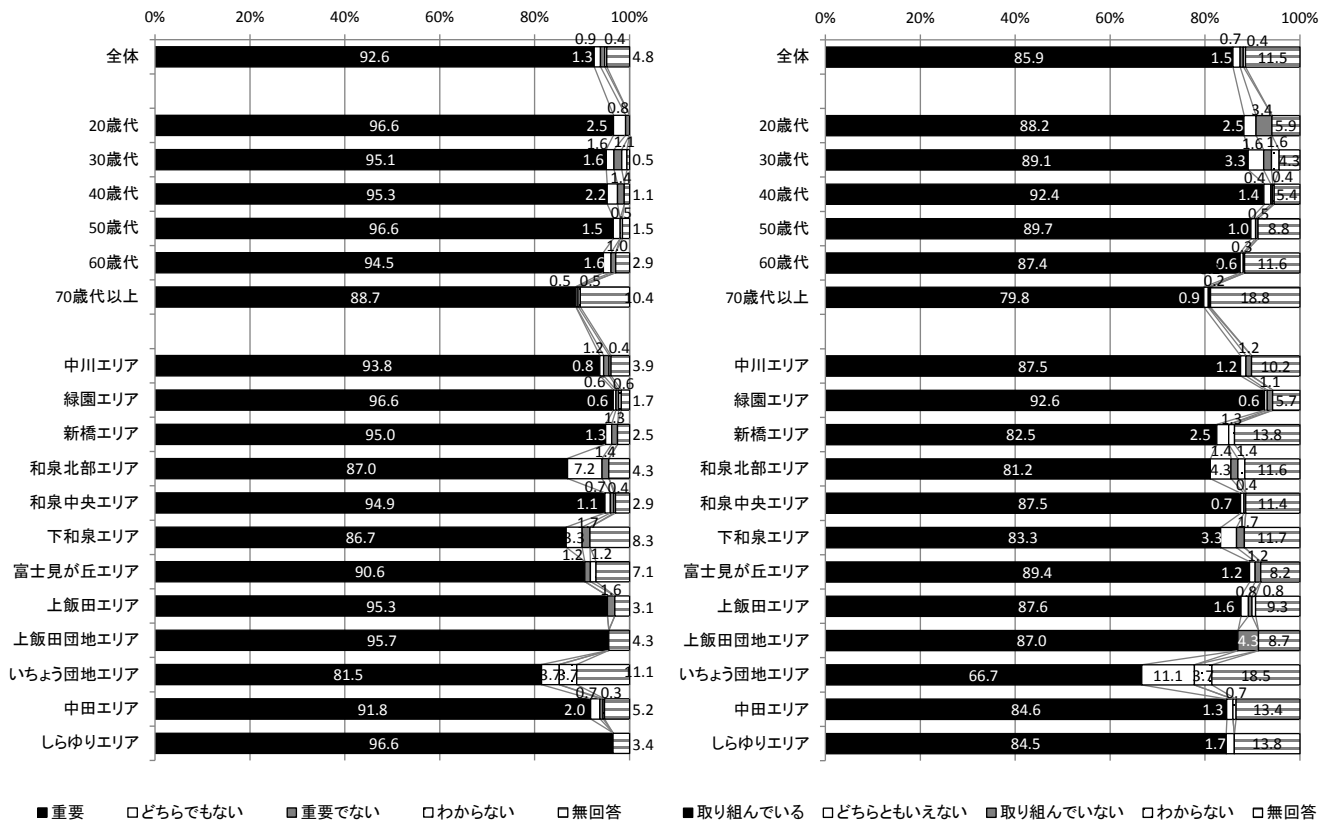
<実践度>

- ・いずれの世代でも「取り組んでいる」が8割弱～9割台で最も多くなっている。最も実践度が高いのは40歳代で9割を超えている。
- ・いずれの地区でも「取り組んでいる」が6割台～8割台で最も多くなっている。最も実践度が高いのは緑園で、9割を超えている。いちょう団地では実践度が低くなっている。

ごみ・資源物-2 ごみと資源物の分別をきちんとすること

<重要度>

<実践度>



※<重要度> 「重要」＝「重要」「やや重要」の合計

「重要でない」＝「あまり重要でない」「重要でない」の合計

<実践度> 「取り組んでいる」＝「積極的に取り組んでいる」「比較的取り組んでいる」の合計

「取り組んでいない」＝「あまり取り組んでいない」「全く取り組んでいない」の合計

ごみ・資源物-3 ごみを減らすためにマイバッグやマイボトルを持つこと

<重要度>

- ・いずれの年齢でも「重要」が最も多く、7割台～8割台となっている。
- ・いずれの地区でも「重要」が最も多く、7割台～8割台となっている。下和泉、いちょう団地では約7割で他に比べて数値が低い。

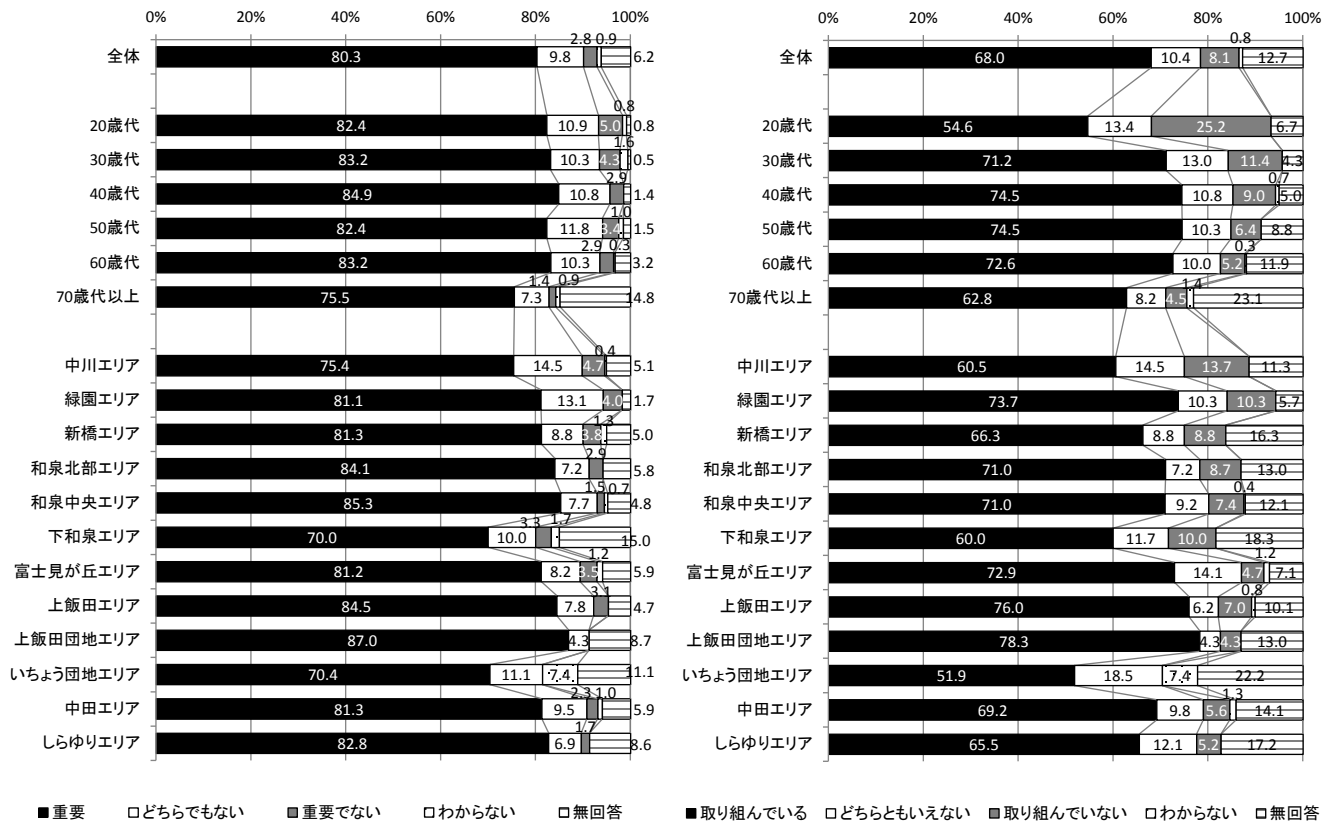
<実践度>

- ・いずれの世代でも「取り組んでいる」が最も多いが、20歳代では実践度が低く、「取り組んでいない」の数値が全体値を10ポイント以上上回っている。
- ・いずれの地区でも「取り組んでいる」が5割台～7割台で最も多くなっている。いちょう団地では実践度が低くなっている。

ごみ・資源物-3 ごみを減らすためにマイバッグやマイボトルを持つこと

<重要度>

<実践度>



※<重要度> 「重要」 = 「重要」「やや重要」の合計
 「重要でない」 = 「あまり重要でない」「重要でない」の合計
 <実践度> 「取り組んでいる」 = 「積極的に取り組んでいる」「比較的取り組んでいる」の合計
 「取り組んでいない」 = 「あまり取り組んでいない」「全く取り組んでいない」の合計

ごみ・資源物-4 ごみを減らすために生ごみの水切りをすること

<重要度>

- ・いずれの年齢でも「重要」が最も多く、7割台～8割台となっている。
- ・いずれの地区でも「重要」が最も多く、7割台～8割台となっている。

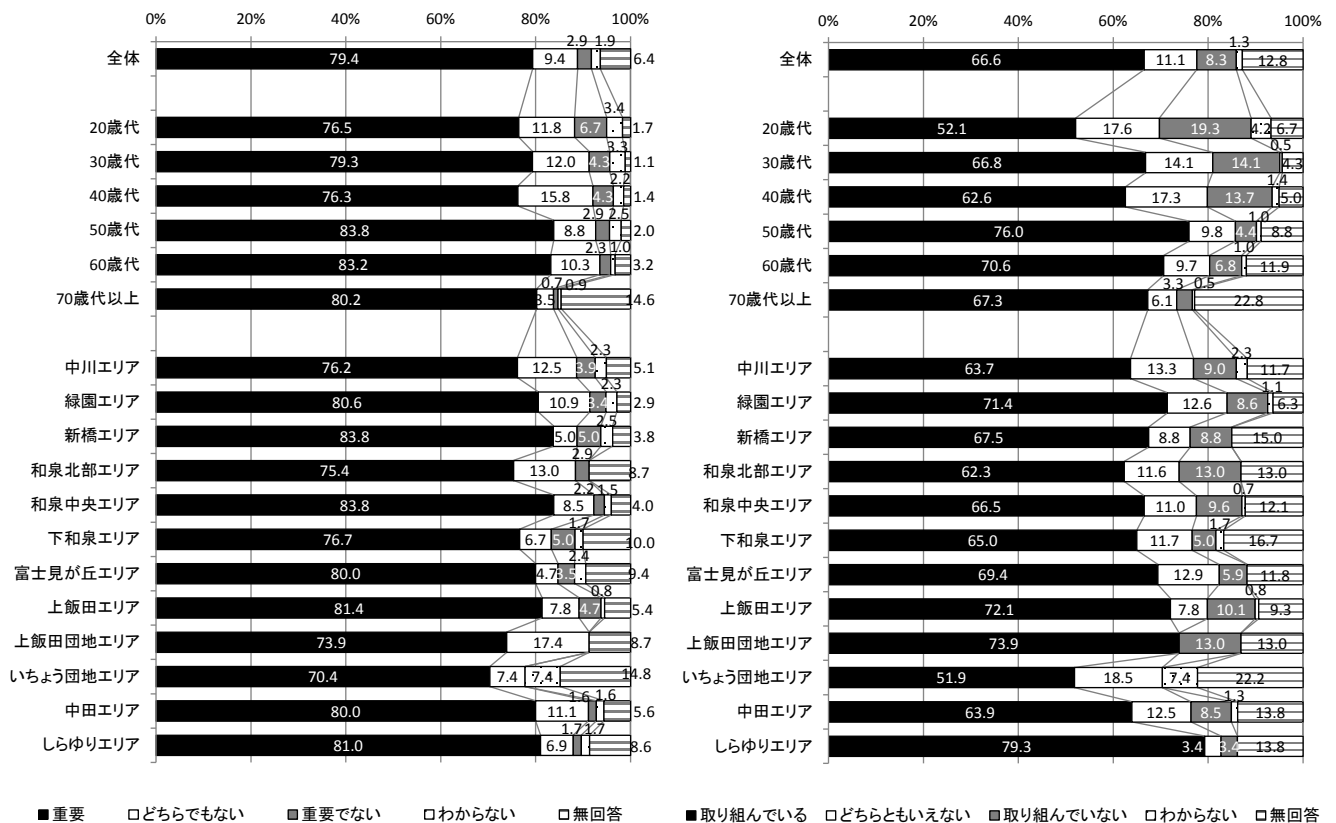
<実践度>

- ・いずれの世代でも「取り組んでいる」が最も多いが、20歳代では実践度が低く、「取り組んでいない」の数値が全体値を10ポイント以上上回っている。最も実践度が高いのは50歳代である。
- ・いずれの地区でも「取り組んでいる」が5割台～7割台で最も多く、実践度が高いのはしらゆりで8割弱に達している。いちよう団地では実践度が低くなっている。

ごみ・資源物-4 ごみを減らすために生ごみの水切りをすること

<重要度>

<実践度>



※<重要度> 「重要」 = 「重要」「やや重要」の合計

「重要でない」 = 「あまり重要でない」「重要でない」の合計

<実践度> 「取り組んでいる」 = 「積極的に取り組んでいる」「比較的取り組んでいる」の合計

「取り組んでいない」 = 「あまり取り組んでいない」「全く取り組んでいない」の合計

ごみ・資源物-5 ごみを減らすために生ごみを堆肥化すること

<重要度>

- ・いずれの年齢でも「重要」が最も多く5割台～6割台で、20歳代で6割を超えている。
- ・いずれの地区でも「重要」が最も多く、4割台～6割台となっている。上飯田団地では「どちらでもない」が全体値に比べて高くなっている。

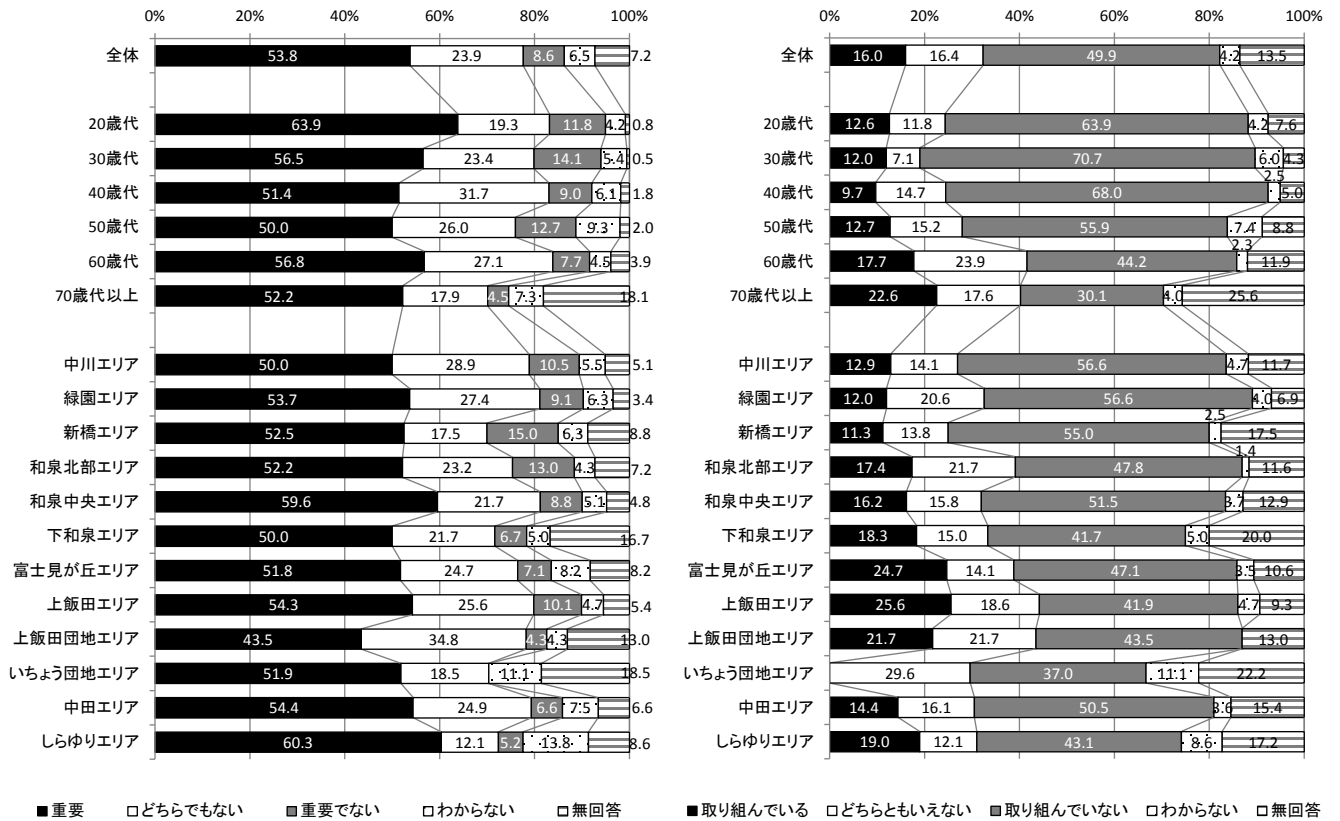
<実践度>

- ・いずれの世代でも「取り組んでいない」が最も多くなっている。高齢者層で実践度が高い傾向にある。
- ・いずれの地区でも「取り組んでいない」が4割弱～5割台で最も多い。いちょう団地では「取り組んでいる」との回答はなく、「どちらともいえない」が全体値に比べて10ポイント以上高くなっている。

ごみ・資源物-5 ごみを減らすために生ごみを堆肥化すること

<重要度>

<実践度>



※<重要度> 「重要」＝「重要」「やや重要」の合計
「重要でない」＝「あまり重要でない」「重要でない」の合計
<実践度> 「取り組んでいる」＝「積極的に取り組んでいる」「比較的取り組んでいる」の合計
「取り組んでいない」＝「あまり取り組んでいない」「全く取り組んでいない」の合計

健康づくり-1 野菜を多く食べること

<重要度>

- ・いずれの年齢でも「重要」が8割以上を占めており、20歳代から50歳代までの世代では9割を超える。
- ・いずれの地区でも「重要」が最も多く、7割台～9割台となっている。緑園、富士見が丘で9割を超えている。

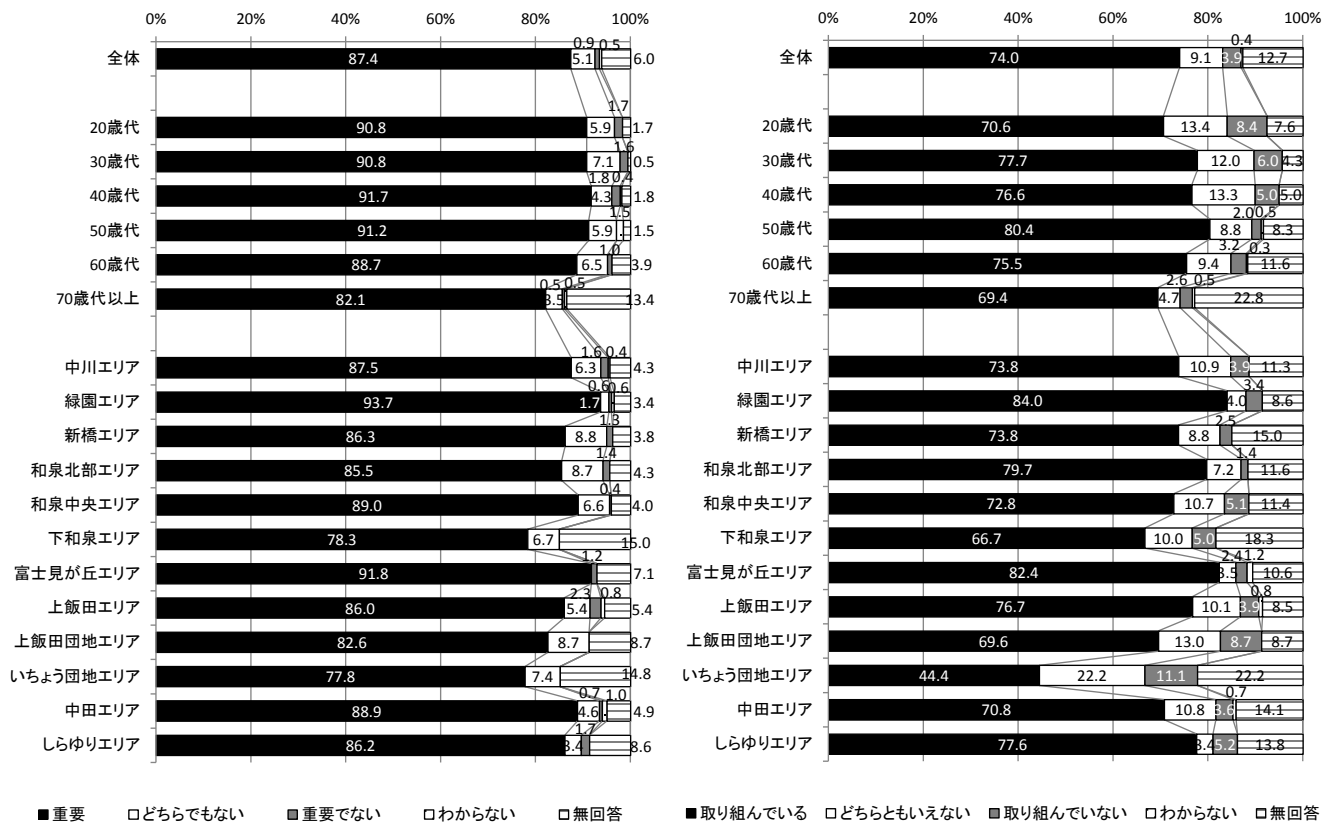
<実践度>

- ・いずれの世代でも「取り組んでいる」が7割弱～8割台で最も多く、50歳代で8割に達している。
- ・いずれの地区でも「取り組んでいる」が最も多い。緑園、富士見が丘で8割を超えている一方、いちよう団地では実践度が低く、「どちらともいえない」が全体値に比べて10ポイント以上高くなっている。

健康づくり-1 野菜を多く食べること

<重要度>

<実践度>



※<重要度> 「重要」＝「重要」「やや重要」の合計

「重要でない」＝「あまり重要でない」「重要でない」の合計

<実践度> 「取り組んでいる」＝「積極的に取り組んでいる」「比較的取り組んでいる」の合計

「取り組んでいない」＝「あまり取り組んでいない」「全く取り組んでいない」の合計

健康づくりー2 塩分を控えた食事をとること

<重要度>

- ・いずれの年齢でも「重要」が最も多く、8割以上を占めている。50歳代で9割に達している。
- ・いずれの地区でも「重要」が最も多く8割台～9割台で、緑園で9割に達しているが、顕著な地域差は見られない。

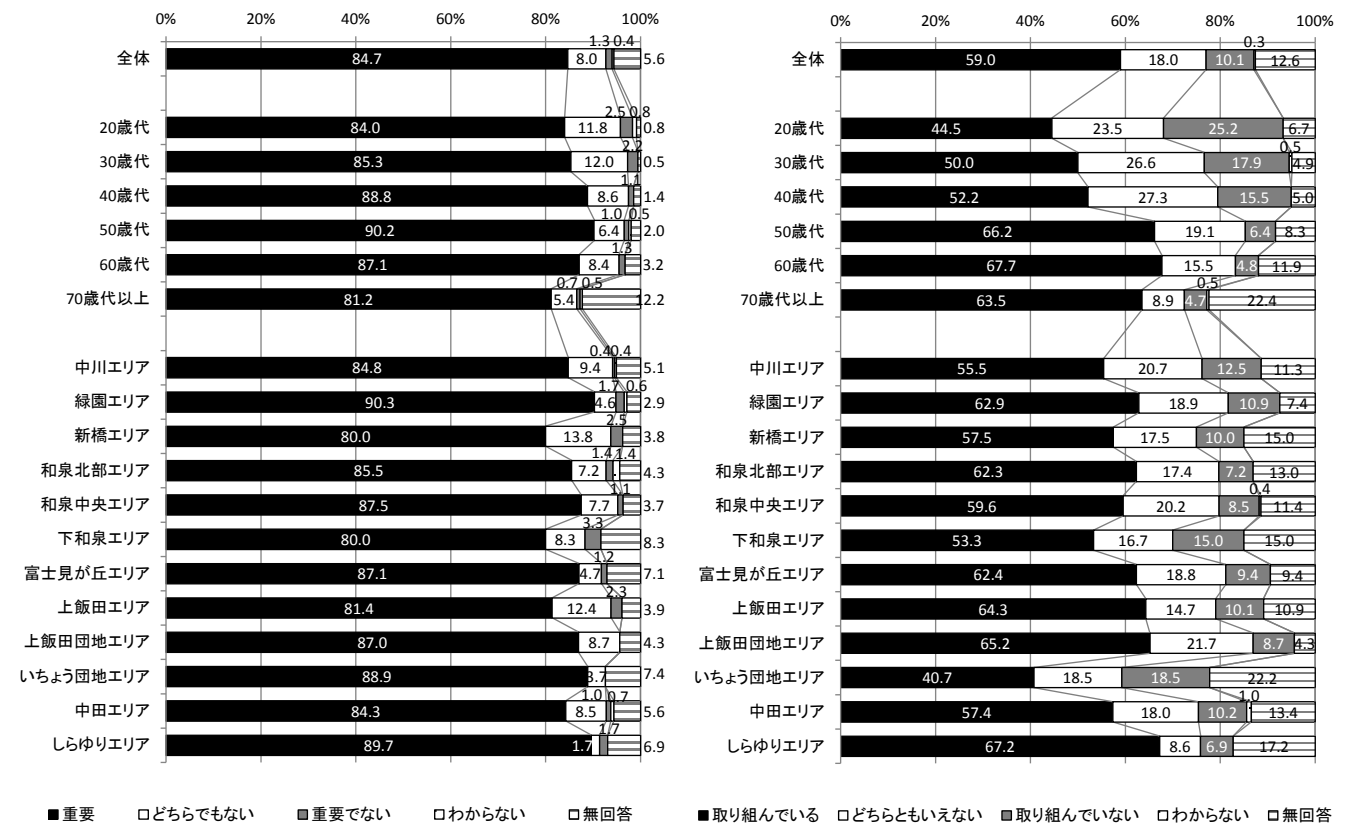
<実践度>

- ・いずれの世代でも「取り組んでいる」が4割台～6割台で最も多いが、20歳代では実践度が低く、「取り組んでいない」の数値が全体値を10ポイント以上上回っている。
- ・いずれの地区でも「取り組んでいる」が4割台～6割台で最も多い。いちょう団地では実践度が低くなっている。

健康づくりー2 塩分を控えた食事をとること

<重要度>

<実践度>



※<重要度> 「重要」 = 「重要」「やや重要」の合計

「重要でない」 = 「あまり重要でない」「重要でない」の合計

<実践度> 「取り組んでいる」 = 「積極的に取り組んでいる」「比較的取り組んでいる」の合計

「取り組んでいない」 = 「あまり取り組んでいない」「全く取り組んでいない」の合計

健康づくりー3 定期的に歯のチェックをすること

<重要度>

- ・いずれの年齢でも「重要」が最も多くなっている。最も低いのは70歳代以上の7割台、高いのは30歳代で9割に達している。
- ・いずれの地区でも「重要」が最も多くなっているが数値に差があり、緑園では9割近い一方、上飯田団地では約6割と低く、「どちらでもない」が全体値に比べて高くなっている。

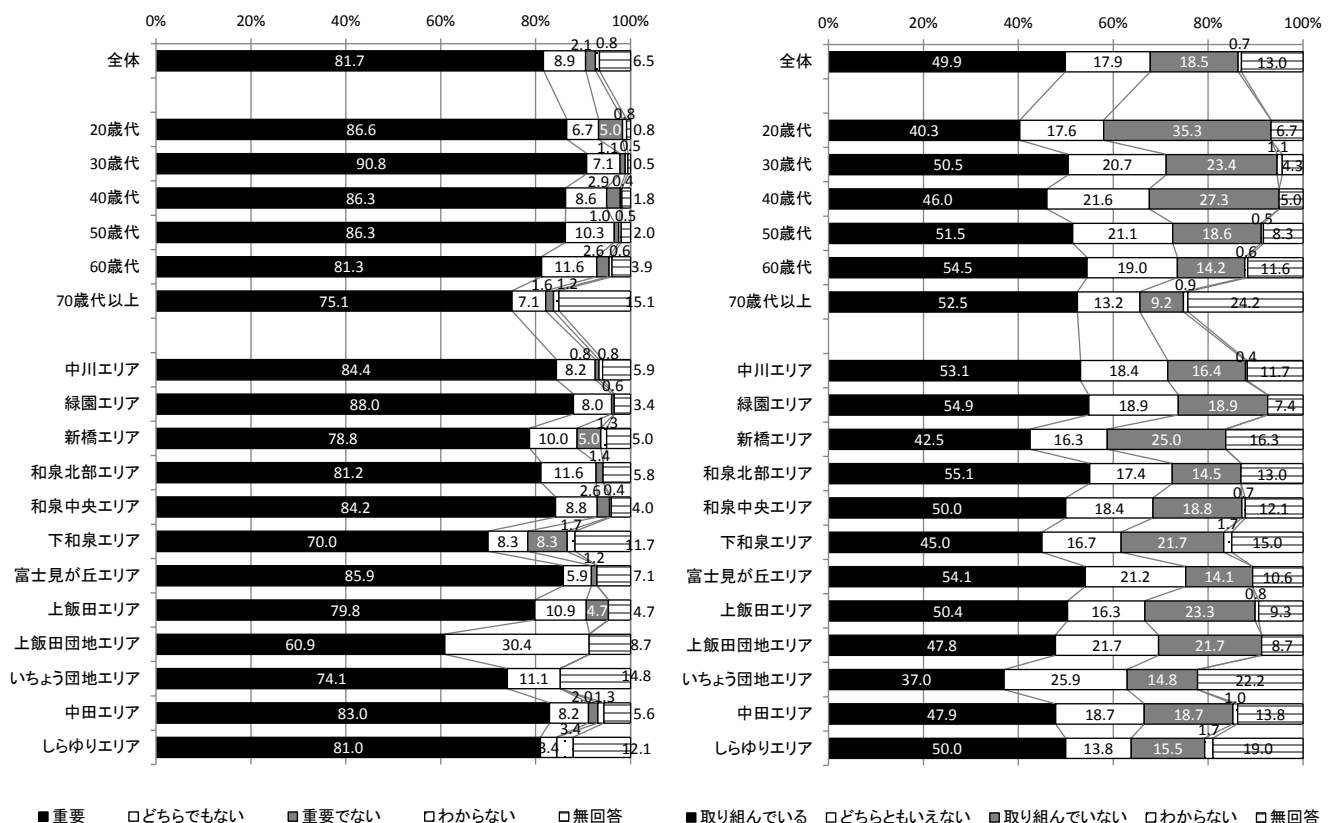
<実践度>

- ・いずれの世代でも「取り組んでいる」が4割台～5割台で最も多い。また、「取り組んでいない」は若い世代で数値が高い傾向にあり、20歳代では「取り組んでいない」の数値が全体値を10ポイント以上上回っている。
- ・いずれの地区でも「取り組んでいる」が3割台～5割台で最も多い。いちよう団地では実践度が低くなっている。

健康づくりー3 定期的に歯のチェックをすること

<重要度>

<実践度>



※<重要度> 「重要」 = 「重要」「やや重要」の合計
 「重要でない」 = 「あまり重要でない」「重要でない」の合計
 <実践度> 「取り組んでいる」 = 「積極的に取り組んでいる」「比較的取り組んでいる」の合計
 「取り組んでいない」 = 「あまり取り組んでいない」「全く取り組んでいない」の合計

健康づくり-4 受動喫煙の機会を減らすこと

<重要度>

- ・いずれの年齢でも「重要」が最も多くなっている。最も低いのは70歳代以上の7割台、高いのは30歳代で9割に達している。
- ・いずれの地区でも「重要」が最も多くなっている。和泉北部で9割近い一方で、下和泉、上飯田団地では6割台となっている。また、上飯田団地では「どちらでもない」が全体値に比べて高くなっている。

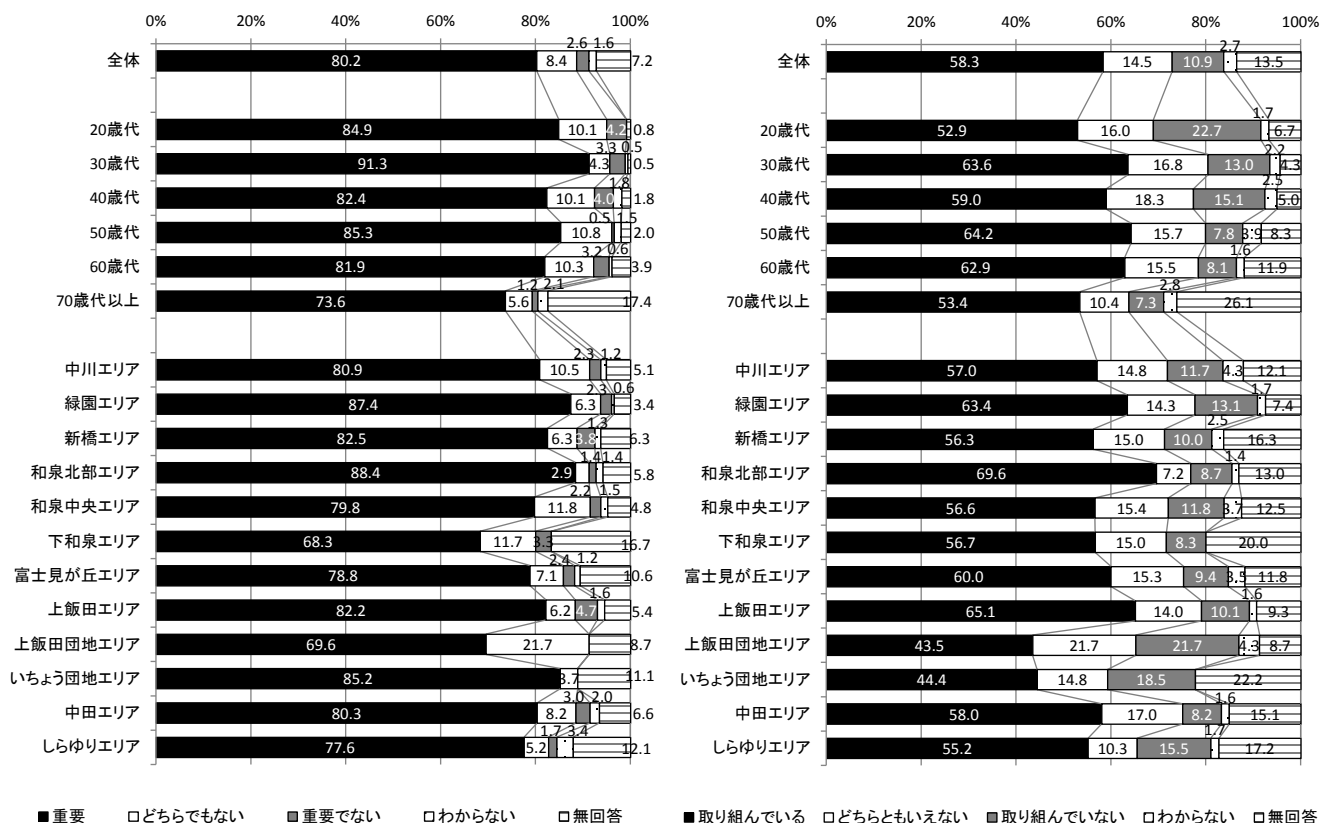
<実践度>

- ・いずれの世代でも「取り組んでいる」が5割台～6割台で最も多い。また、「取り組んでいない」は若い世代で数値が高い傾向にあり、20歳代では「取り組んでいない」の数値が全体値を10ポイント以上上回っている。
- ・いずれの地区でも「取り組んでいる」が4割台～6割台で最も多く、和泉北部では7割近くに達している。いちょう団地、上飯田団地では実践度が低く、特に上飯田団地では「取り組んでいない」の数値が全体値を10ポイント以上上回っている。

健康づくり-4 受動喫煙の機会を減らすこと

<重要度>

<実践度>



※<重要度> 「重要」＝「重要」「やや重要」の合計
「重要でない」＝「あまり重要でない」「重要でない」の合計
<実践度> 「取り組んでいる」＝「積極的に取り組んでいる」「比較的取り組んでいる」の合計
「取り組んでいない」＝「あまり取り組んでいない」「全く取り組んでいない」の合計

健康づくり-5 定期的に運動すること

<重要度>

- ・いずれの年齢でも「重要」が最も多くなっている。最も低いのは70歳代以上の7割台、高いのは30歳代で9割を超えている。
- ・いずれの地区でも「重要」が最も多く、和泉北部で9割を超えている。上飯田団地では「どちらでもない」が全体値に比べて高くなっている。

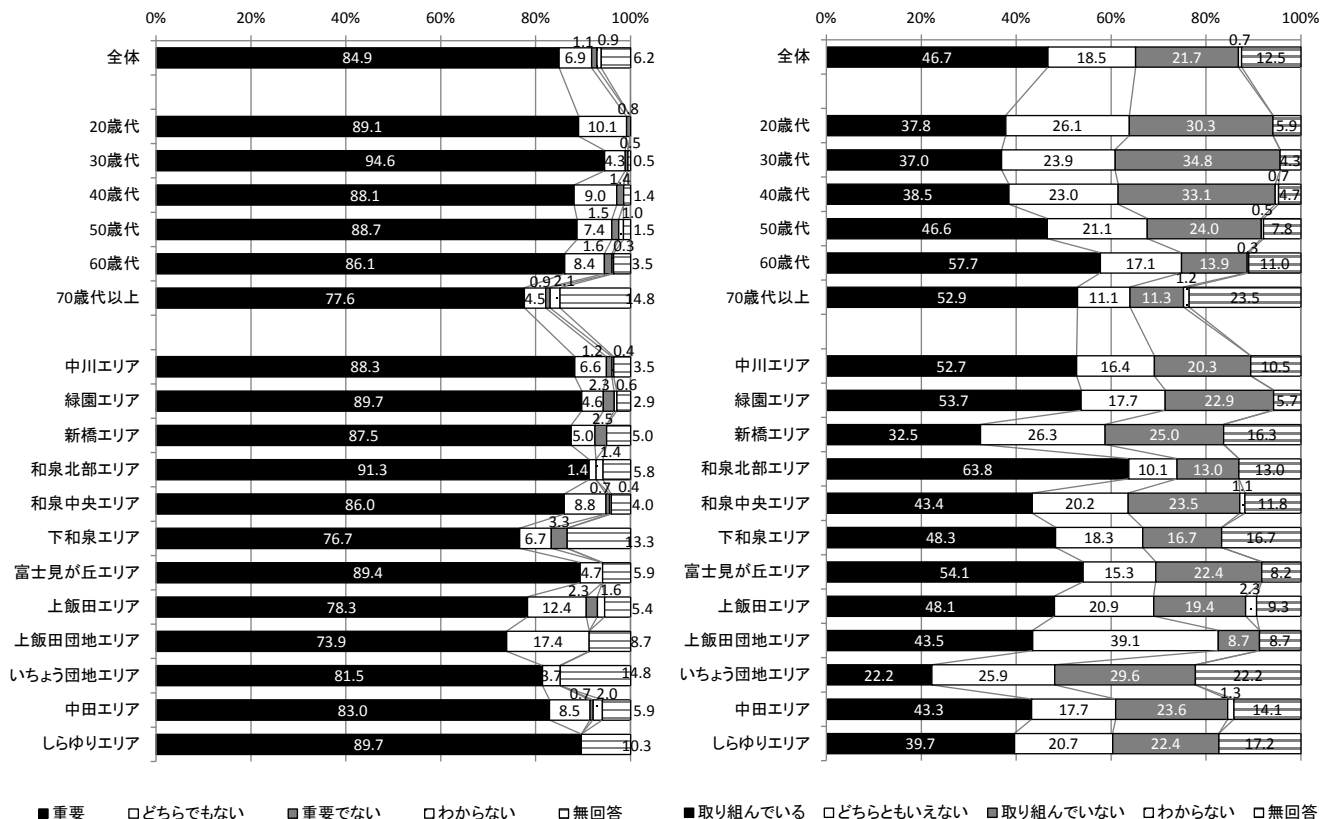
<実践度>

- ・いずれの世代でも「取り組んでいる」が3割台～5割台で最も多く、実践度が最も高いのは60歳代である。また、30歳代、40歳代で「取り組んでいない」の数値が全体値を10ポイント以上上回っている。
- ・いちょう団地で「取り組んでいない」、それ以外はいずれの地区でも「取り組んでいる」が最も多くなっている。上飯田団地では「どちらともいえない」の数値が全体値を10ポイント以上上回っている。

健康づくり-5 定期的に運動すること

<重要度>

<実践度>



※<重要度> 「重要」 = 「重要」「やや重要」の合計

「重要でない」 = 「あまり重要でない」「重要でない」の合計

<実践度> 「取り組んでいる」 = 「積極的に取り組んでいる」「比較的取り組んでいる」の合計

「取り組んでいない」 = 「あまり取り組んでいない」「全く取り組んでいない」の合計

健康づくりー6 定期的にがん検診を受けること

<重要度>

- ・いずれの年齢でも「重要」が最も多く、7割台～8割台となっている。
- ・いずれの地区でも「重要」が最も多く、7割弱～8割台となっている。上飯田団地では「どちらでもない」が全体値に比べて高くなっている。

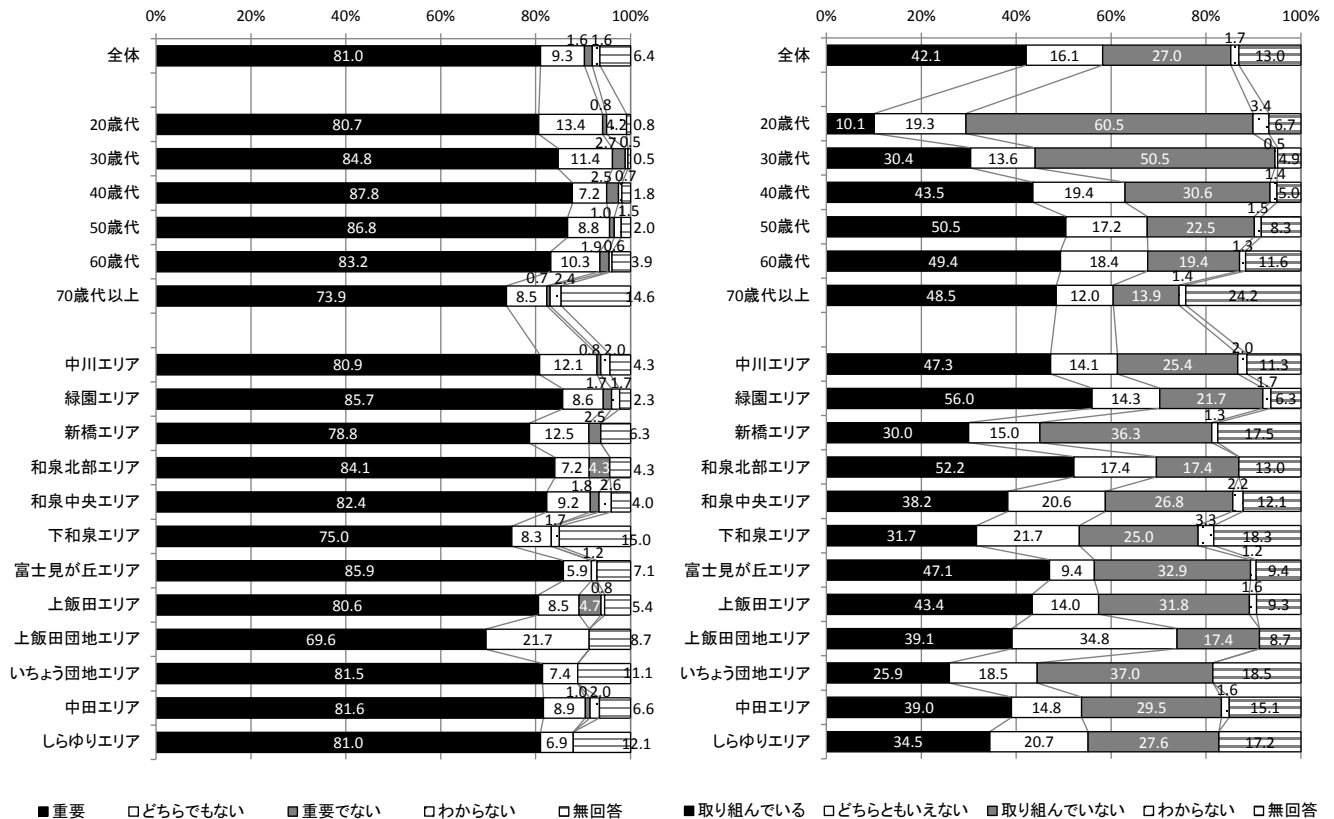
<実践度>

- ・20歳代、30歳代では「取り組んでいない」、40歳代以上の世代では「取り組んでいる」が最も多く、40歳代を境に傾向が分かれた。
- ・新橋、いちょう団地で「取り組んでいない」、それ以外はいずれの地区でも「取り組んでいる」が最も多く、最も実践度が高いのは緑園である。上飯田団地では「どちらともいえない」の数値が全体値を10ポイント以上上回っている。

健康づくりー6 定期的にがん検診を受けること

<重要度>

<実践度>



※<重要度> 「重要」 = 「重要」「やや重要」の合計

「重要でない」 = 「あまり重要でない」「重要でない」の合計

<実践度> 「取り組んでいる」 = 「積極的に取り組んでいる」「比較的取り組んでいる」の合計

「取り組んでいない」 = 「あまり取り組んでいない」「全く取り組んでいない」の合計

健康づくり7 1年に1回健診を受けること

<重要度>

- ・いずれの年齢でも「重要」が最も多く8割弱～9割強となっており、30歳代では9割を超えている。
- ・いずれの地区でも「重要」が最も多く、7割弱～9割台を占め、富士見が丘で9割を超えている。上飯田団地は数値が低く、「どちらでもない」が全体値に比べて高くなっている。

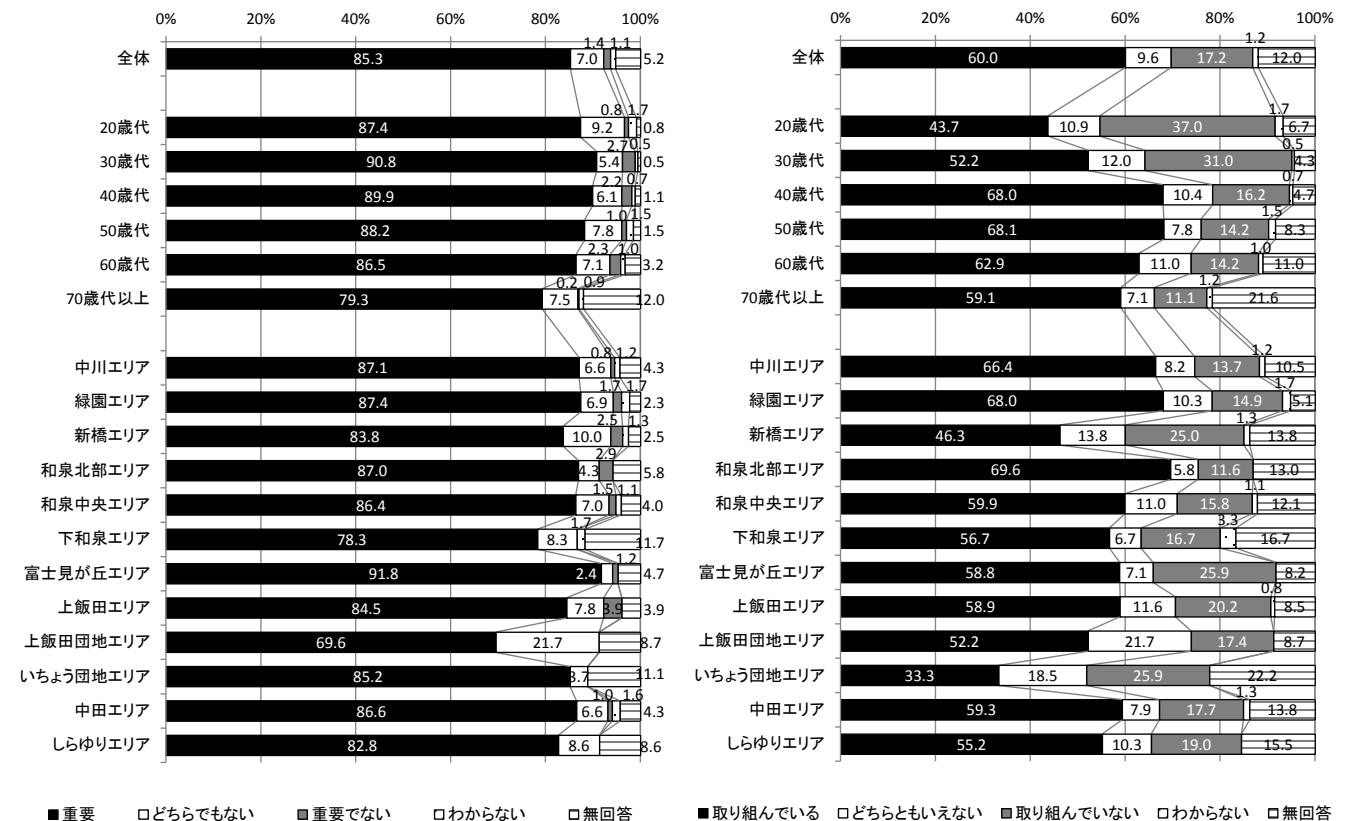
<実践度>

- ・いずれの世代でも「取り組んでいる」が最も多く、4割台～6割台となっている。20歳代、30歳代では「取り組んでいない」が全体値に比べて10ポイント以上高くなっている。
- ・いずれの地区でも「取り組んでいる」が3割台～6割台で最も多く、和泉北部で実践度が高く7割近くに達している。いちょう団地では実践度が低い。上飯田団地では「どちらともいえない」の数値が全体値を10ポイント以上上回っている。

健康づくり7 1年に1回健診を受けること

<重要度>

<実践度>



※<重要度> 「重要」＝「重要」「やや重要」の合計

「重要でない」＝「あまり重要でない」「重要でない」の合計

<実践度> 「取り組んでいる」＝「積極的に取り組んでいる」「比較的取り組んでいる」の合計

「取り組んでいない」＝「あまり取り組んでいない」「全く取り組んでいない」の合計